

ハードディスクレコーダー DVR-S130

取扱説明書

このたびは、セレン製ハードディスクレコーダー【DVR-S130】をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しくお使いいただくため、事前に本書をよくお読みになり、十分ご理解のうえご使用ください。
お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

目次

1 お使いになる前に P.4

安全上のご注意	P. 4
使用上のご注意	P. 6
本製品の特長	P.10
梱包内容の確認 / 本書の表記について	P.11
各部の名称とはたらき	P.12
基本的な接続例	P.14

2 使用を開始する P.15

すぐに使える“DVR-S130”	P.15
ライブ画面について	ライブ画面・マーク表示 P.16 ライブ画面の切替（4分割画面表示／単一画面表示） P.17 自動画面切替機能 P.17
基本的な操作方法	基本的なボタン操作 P.18 メインメニュー画面を表示する（設定を確認・変更する場合等） P.19 マウスを使用した操作 / ライブ操作画面 P.20
はじめに設定しましょう	P.21
録画（録画待機中）の停止	録画（録画待機中）を停止する／電源を切る（移設の場合等） P.22 録画待機中にする（録画する） P.23

3 各項目の設定 P.24

カメラ設定	[カメラ設定] 画面を表示する P.26 └ カメラ機能／録画 P.27 └ ライブ画面を隠す／切替時間 P.28 └ 画像位置調整 P.29 └ 色調整 P.30
録画設定	録画自動切替時間 P.31 録画スケジュール P.32 録画設定（解像度・画質・フレーム数） P.34 録画時間の目安 P.34
検知設定	ビデオロス検知設定 P.38 動体検知設定 P.39
パスワード設定	P.42

システム設定	メニュー終了時間	P.44
	画面表示設定	P.45
	日時設定〈日時表示・日時設定〉	P.48
ハードウェア設定	上書き	P.50
	ハードディスク情報	P.51
	HDD フォーマット	P.52
	画面設定	
	└ 境界線	P.53
	└ 画面解像度	P.54
	└ 画面位置調整	P.55
	録音設定	P.56
その他	USB メモリーフォーマット	P.57
	設定ファイルの保存	P.58
	設定ファイルの読込	P.59
	設定初期化	P.60

4 再生する

P.61

再生メニュー画面について	再生メニュー画面の表示方法	P.62
	再生メニュー画面の切替 / マーク表示	P.63
日時指定再生する		P.64
リスト再生する		P.65
再生中の操作について	基本的なボタン操作	P.66
	再生中情報表示	P.67
	再生操作画面	P.68

5 パソコンで再生する

P.69

データをバックアップする		P.70
バックアップデータの再生	パソコンの推奨動作環境 / パソコンの準備	P.72
	パソコンでの再生方法 / クリック操作	P.73
	右クリック操作項目	P.74
	右クリック操作項目 (オプション内) / 静止画データの作成	P.75

仕様・保証



P.77

主な仕様	78
保証 (保証書)	79



安全上のご注意 (必ずお守りください)











○お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくため、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の意味
 警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
 注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。

図記号	図記号の意味
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	指示する行為の強制(必ず実行していただく)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 警告	
 指示 煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!! 異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。	 分解禁止 キャビネット(天板)をはずしたり、改造したりしない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。
 水ぬれ禁止 花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。	 禁止 内部に異物を入れない 通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
 ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。	 禁止 不安定な場所には置かない ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
 禁止 落としたり、キャビネット(天板)を破損したりした場合は使わない 火災や感電の原因となります。	 禁止 電源コードを傷つけない ●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない ●束ねない コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり、断線したりするなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。
 接触禁止 雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない 感電の原因となります。	

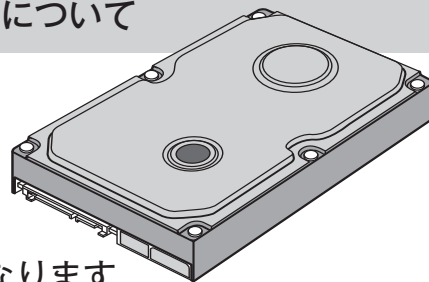
 警告	
 指示 コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない 交流 100V 以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流を超えて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。	 指示 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
 指示 AC アダプターなどは、付属又は指定のものを使う 指定以外のものを使用すると、電圧・電流値や+-の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。	 指示 AC アダプターを抜き差しするときは、コードを持って引っ張らない コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

 注意	
 禁止 湿気やほこりの多い場所に設置しない 火災や感電、故障の原因になります。	 電源プラグ 長時間使用しないときや、お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く 漏電、感電の原因になります。
 禁止 振動や強い衝撃を与えない 火災や感電、故障の原因になります。	 指示 本製品（付属品含む）は屋内専用です 屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。
 禁止 通風口をふさがない ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない 通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。	 指示 本製品は日本国内専用です 放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
 禁止 電池は幼児の手の届く所に置かない 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。	 指示 電池はプラス (+) とマイナス (-) の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる 間違えると電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止 指定以外の電池、充電式電池を使わない。 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 指示 電池を廃棄する場合、テープ等で絶縁する 他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。
 禁止 電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。	 指示 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す 電池を入れたままにしておくと、過放電・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	 指示 電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

使用上のご注意

内蔵ハードディスク（以下、HDD）について

- 本製品は、精密機器である HDD を搭載しております。本製品の取扱いには、十分ご注意ください。
- 本製品に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中や HDD へのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 録画・再生の動作中に、電源プラグを抜かないでください。
- 本体の電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。
- 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。HDD に記録されているデータが損なわれることがあります。
- HDD に異常が発生したと思われる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- HDD は、消耗劣化する部品です。使用環境により寿命は異なりますが、+ 25°C の環境でご使用になる場合で、20,000 ~ 30,000 時間を目安に交換してください。**
(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。)
- HDD の交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 故障の早期発見のため、定期的に録画再生の確認をされることをおすすめします。



本機を使用した監視システム構築上の注意

- ・本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組み合わせによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
- ・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー／バックアップをとられることをおすすめします。
- ・万一、本機の不具合により監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他の損失が発生した場合、当社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・記録動作中にコンセントを抜いたりブレーカーを切ったりすると、ハードディスクが故障したり、記録したデータが再生できなくなる恐れがあります。

大切な記録の保存について

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。
- ・正確な記録を残すために、定期的（1 ヶ月に 1 回程度）な日時の確認・設定をおすすめします。
- ・本機を使用中、本機もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

使用電源について

- ・使用電源は AC100V です。
- ・付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用場所について

- ・本機は屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください
 - 直射日光の当たる場所
 - 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
 - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
 - 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
 - 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - 傾斜のある場所
 - 水滴または水沫のかかる場所
- ・横置き（水平）に設置してください。縦置き、傾けての設置など不安定な場所に置いて使用すると、HDD などの故障の原因となります。

長期間使用しない場合の対応について

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1 週間に1 回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。
- ・使用を再開するときは、必ず日時を確認・設定の上、ご使用ください。

結露について

- ・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで2 時間程度放置してください。
 - 湿度の高いところ
 - 暖房した直後の部屋
 - 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

機器を廃棄または譲渡される場合

- ・HDD 内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

使用温度範囲について

- ・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、内蔵 HDD は特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

動体検知機能について

- ・本機に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。
- ・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
 - 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
 - 夜間など、映像の輝度が低い
 - 被写体の動きが遅い
 - 被写体が小さい
 - 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
 - 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
 - 蛍光灯がちらつく
 - 被写体に奥行きがある
- ・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しない場合や誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

雑音源は避けてください

- ・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

外部機器について

- ・本製品には、USB メモリーでのコピー機能が搭載されています。
- ・本製品に接続する外部機器については、実際の運用前に必ず確認をしてご使用いただくようお願いいたします。
- ・ご使用になりたい外部機器が運用方法に適さない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。

1 使用上のご注意

その他

- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。
- ・移動させるときは、録画・再生を停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。動作中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品やHDDをいためることがあります。
- ・移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。
- ・本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合がございます。

お手入れについて

- ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

免責について

- ・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は、一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・商品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の保護について

- ・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※ 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

著作権・肖像権についてのご注意

- ・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのみご使用に限られますのでご注意ください。

輸出制限について

- ・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

用途制限について

- ・本製品は、一般家庭・店舗用を意図として設計・製作されています。
 - ・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
- ※ 高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

商標および登録商標について

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 2000、Windows[®] XP、Windows[®] Vista、Windows[®] 7、Windows[®] 8 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。）
その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
（なお、本文中では「[®]」を明記していません。）

PC ビューアソフト使用許諾契約条項

- ・付属の PC ビューアソフト（以下、本ソフトウェア）は著作権およびその他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。
- ・本ソフトウェアは非営利目的に限り、複数の PC にて使用することを許可しています。
- ・本ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- ・本ソフトウェアの使用時に、コンピュータウィルス、スパイウェア、アドウェアまたは悪意のあるファイルがインストールされることはありません。
- ・本ソフトウェアの使用または、使用不能によって生じる逸失利益、データ損失、コンピュータに及ぼす影響、お客様に対し、特別、間接的、付随的または類似の損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- ・本ソフトウェアは変更を加えない限り、非営利目的での配布が可能です。本ソフトウェアの販売、配布することで利益を得ることは許可されません。
- ・本契約は、日本国法に準拠するものとします。

本製品の特長

- **圧縮方式 H.264 採用**
- **同時録画再生機能** …………… 録画中でも再生・各項目の設定ができます。*
- **動体検知録画** …………… 映像の中の動きを検知して録画を開始できます。
- **カメラごとにさまざまな設定が可能**
 - ① **録画フレーム設定** …………… 録画する際のフレーム数の設定ができます。
 - ② **録画スケジュール設定** …… 曜日・時間ごとに [通常録画]・[動体検知]・[録画せず] の設定ができます。
 - ③ **動体検知設定** …………… 動体検知感度・録画時間・動体検知範囲の設定ができます。
 - ④ **警報ブザーの設定** …………… ビデオロス時・動体検知時に、警報ブザーを鳴らす設定ができます。
 - ⑤ **色調整** …………… [明度]・[コントラスト]・[色合い]・[彩度]・[シャープネス]
- **選べる 2 つの再生方法**
 - ① **日時指定再生** …………… 確認したい日時を指定して録画データを再生できます。
 - ② **リスト再生** …………… 録画データのリストを選んで再生できます。
- **便利なリモコン付き**
- **パソコンで再生可能** …… 録画データを USB メモリーにバックアップして再生できます。
- **自動画面切替機能搭載** …… カメラごとの映像を自動で切り替えながら、単一画面で見ることができます。
- **録音機能付き (1 系統)**
- **電源・録画・再生の表示ランプ付き**
- **3 段階の録画画質設定** …… [高]・[中]・[低]
- **大容量 1TB のハードディスク内蔵**

※ハードディスク上書き状態でのバックアップおよび一部再生時を除きます。(➡ P.62、P.70)

梱包内容の確認

ご使用前にご確認ください。

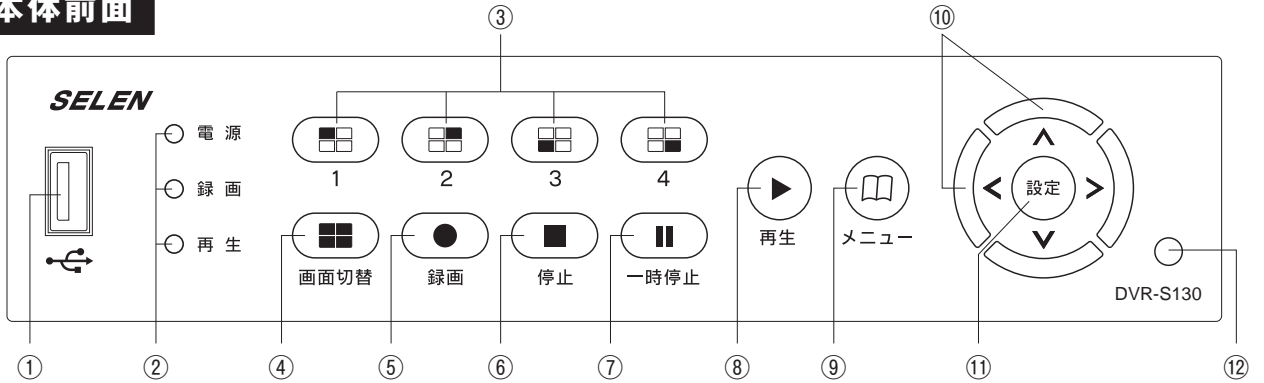
●本体	× 1
●専用 AC アダプター	× 1
●電源ケーブル	× 1
●BNC/RCA 変換コネクタ	× 4
●リモコン（テスト用電池付き）	× 1
●USB マウス	× 1
●ビデオケーブル	× 1
●PC ビューアソフト（CD-ROM）	× 1
●取扱説明書（保証書付き）	× 1
●クイックガイド	× 1

本書の表記について

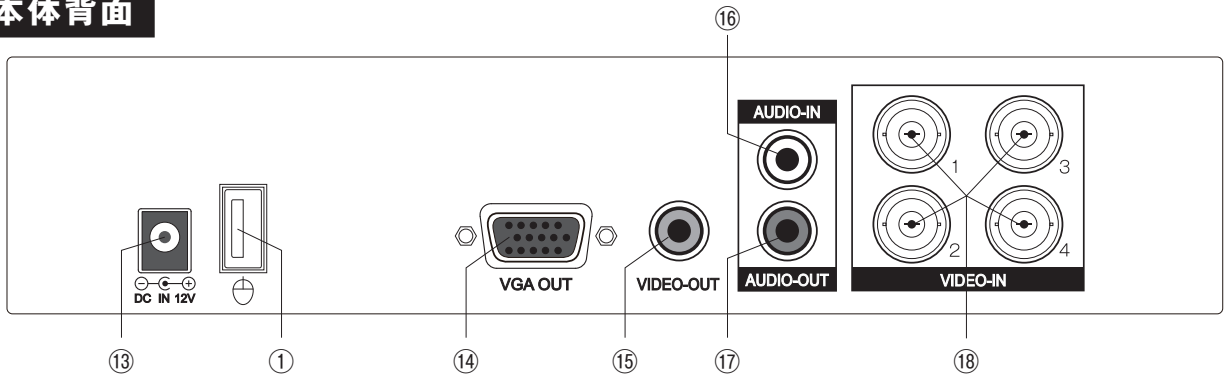
- 本書は、Windows[®] 7、Internet Explorer[®] 11 を例に説明しています。
- 本書では、DVR-S130 を「本機」、または「本製品」、「DVR」と表記しています。
- 本書では、本体のボタンを【 】に囲んで表記しています。 例：⇒【設定】ボタン
- 本書では、画面上の表示を [] に囲んで表記しています。 例：⇒ [カメラ設定]
- 本書では、本体ボタンを使用した操作方法をベースに説明しています。
- 本書では、[日時表示] 設定は [年 / 月 / 日] をベースに説明しています。
- 本書で記載している画面の表示内容は、「例」です。
- 本書内に記載しているイラストや画像は、イメージです。実際とは異なる場合があります。
- 製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合がございます。

各部の名称とはたらき

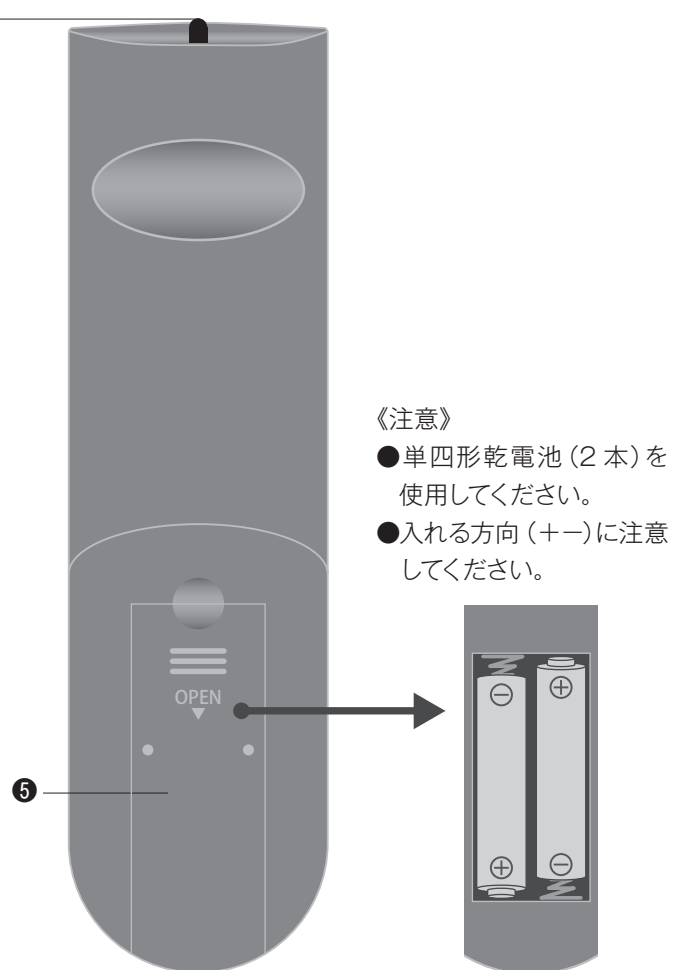
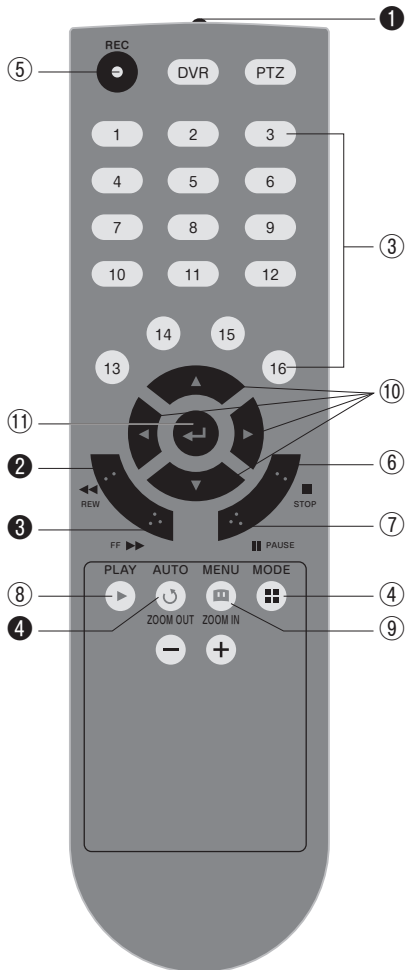
本体前面



本体背面



リモコン



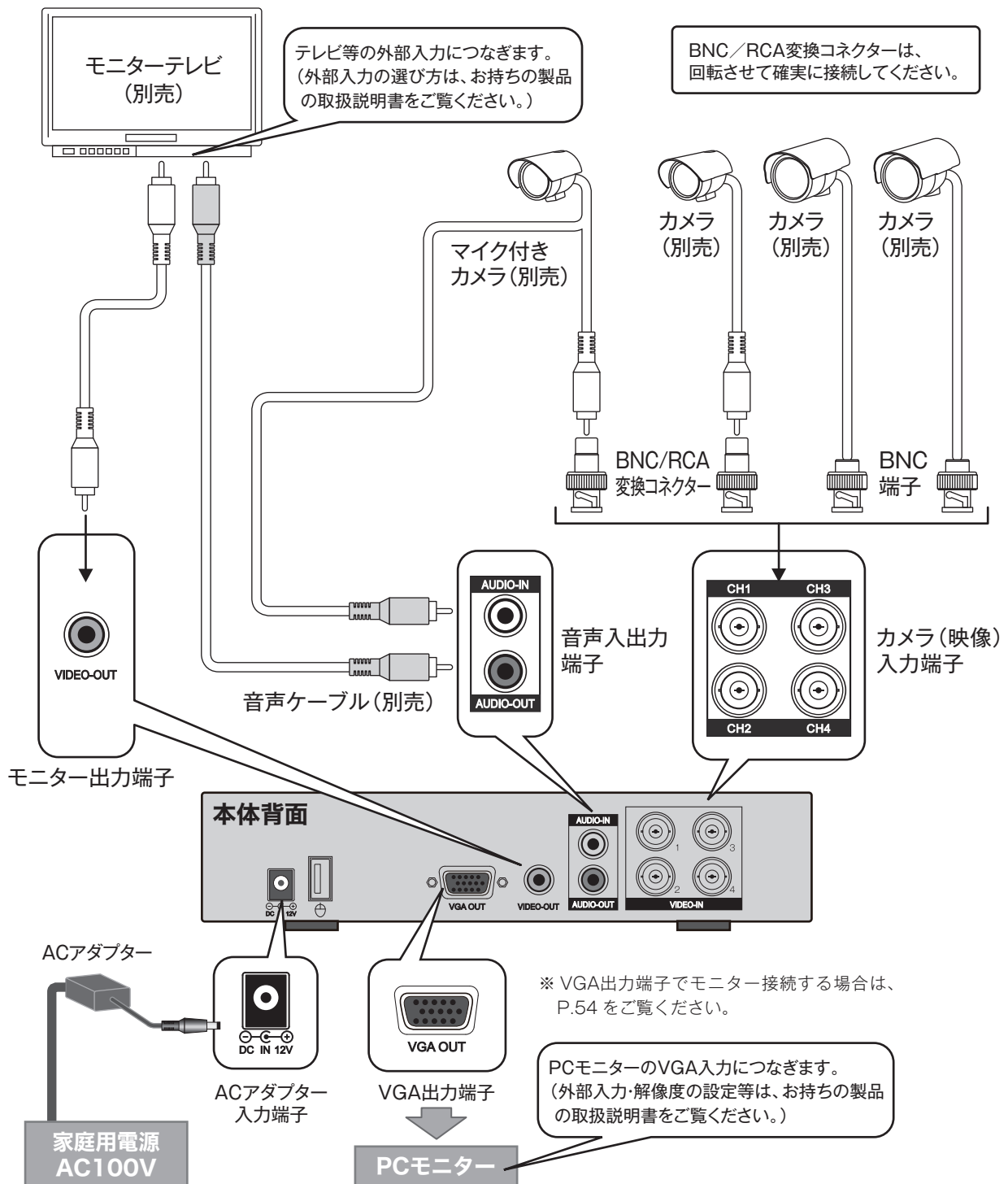
《注意》

- 単四形乾電池 (2本) を使用してください。
- 入れる方向 (+) に注意してください。

名称	はたらき	
① USB 差込口	USB メモリー・USB マウスを接続する差込口です。	
②表示ランプ	電源：電源が入っている時に点灯します。	
	録画：録画中に点灯します。	
	再生：再生中に点灯します。	
③カメラ切替ボタン	各カメラ [1 ~ 4] の画面に切り替えます。 ※リモコンの「1 ~ 10」は、数字入力時に使用できます。 数字入力時、「10」は「0」を入力します。	
④画面切替 (MODE) ボタン	4 分割画面・自動画面切替を切り替えます。	
⑤録画 (REC) ボタン	録画待機中：録画を開始します。	
	録画中：録画を停止します。 ※パスワードの入力が必要です。	
⑥停止 (STOP) ボタン	録画や再生を停止します。 ※録画の停止には、パスワードの入力が必要です。	
⑦一時停止 (PAUSE) ボタン	再生を一時停止します。	
⑧再生 (PLAY) ボタン	ライブ画面時：再生メニュー画面を表示します ※パスワードの入力が必要です。	
	再生操作時：再生します。	
⑨メニュー (MENU) ボタン	ライブ画面時：メインメニュー画面を表示します。 ※パスワードの入力が必要です。	
	操作画面時：「戻る」操作のボタンになります。	
⑩移動ボタン	各項目設定時：それぞれの方向に選択を移動します。	
	再生操作時	[>]：早再生します。(5 段階)
		[<]：早戻し再生します。(5 段階)
⑪設定ボタン	項目を設定します。	
⑫リモコン受光部		
⑬ AC アダプター入力端子	付属の専用 AC アダプターを接続します。	
⑭ VGA 出力端子	VGA ケーブルを接続します。 ※ VGA ケーブルは、別途お買い求めください。	
⑮モニター出力端子	(1 系統)	
⑯音声入力端子		
⑰音声出力端子		
⑱カメラ (映像) 入力端子	(CH1 ~ 4)	
❶リモコン発光部		
❷ REW ボタン	再生時：早戻し再生します。(5 段階)	
❸ FF ボタン	再生時：早再生します。(5 段階)	
❹ AUTO ボタン	4 分割画面・自動画面切替を切り替えます。	
❺乾電池収納部分		

基本的な接続例

■ 監視カメラ・モニターテレビの基本的な接続例



- ◆ 同時に4台までの監視カメラを接続することができます。(VIDEO IN BNC端子)
カメラのビデオケーブルがBNC端子の場合はそのまま接続できます。
RCAピン端子の場合は、付属のBNC/RCA変換コネクタを本製品の端子部に接続してから、ビデオケーブルを差し込んでください。
BNC/RCA変換コネクタは、回転させて確実に接続してください。
- ※ カメラの電源は、別途必要です。
- ※ 監視カメラによってビデオケーブルは、別売りになっている場合があります。
- ※ 接続される機器の操作につきましては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

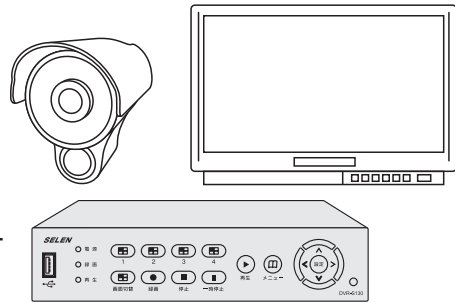
使用を開始する

すぐに使える“DVR-S130”

Step 1

カメラ・モニターを接続する。

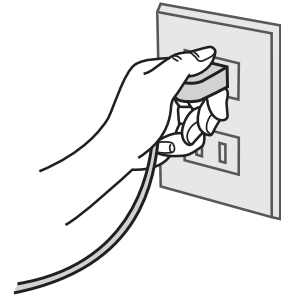
「基本的な接続例」P.14を参考に、監視カメラ、モニターを接続します。



Step 2

専用ACアダプター・電源ケーブルをつなぐ。

付属の専用ACアダプターと電源ケーブルをつなぎ、本体のACアダプター入力端子と家庭用電源コンセント（AC100V）に接続します。



自動的に電源が投入され、システム起動後に録画状態*になります。

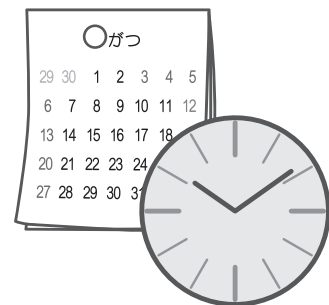
*初期状態：約30秒後



Step 3

現在時刻表示を確認する。

本製品は工場出荷時に時間を設定しておりますが、使用を開始する際はライブ画面上の現在時刻をご確認ください。また、必要がある場合は、「日時設定」P.48を参照して設定変更を行ってください。

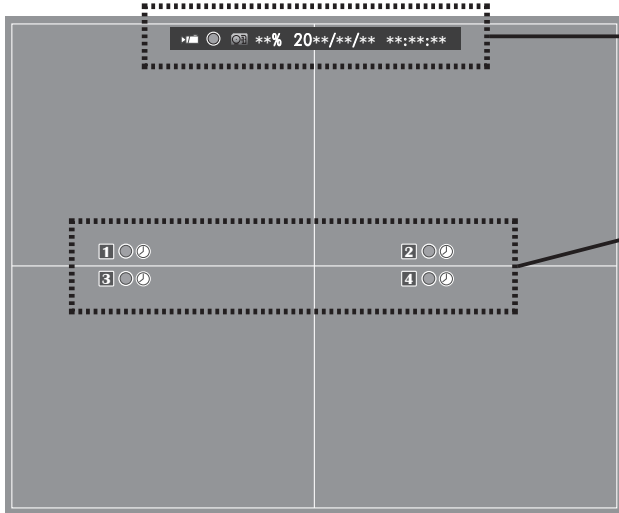


※監視カメラ側から映像信号が入力されていない場合は、録画設定状態でも録画しません。

ライブ画面について

ライブ画面・マーク表示

電源を入れると、最初にライブ画面が表示されます。
 接続されているカメラのライブ（現在の）映像を見ることができます。



ステータス情報

※画面表示は、[年/月/日] 表示を例に説明しています。

カメラ情報

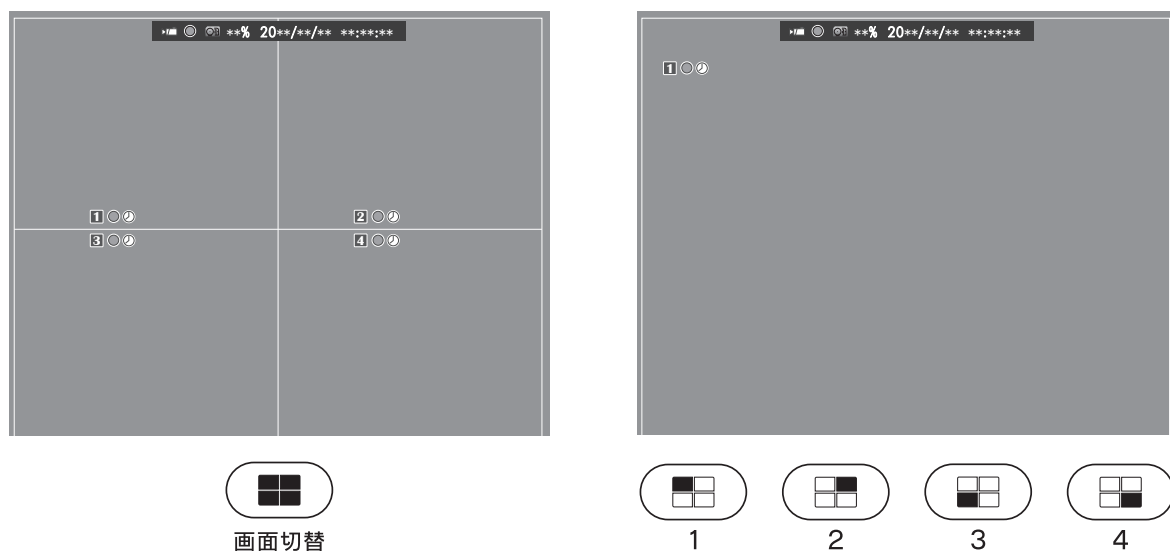
◆カメラ設定 (⇒P.26)によるライブ画面の表示状態について

○=表示される ×=表示されない	カメラ機能		録画		ライブ画面を隠す	
	オン	オフ	オン	オフ	はい	いいえ
カメラの映像	○	×	○	○	×	○
[ビデオロス] マーク	○	×	○	○	○	○
[録画モード] マーク	○	×	○	×	○	○

	マーク	表示名	表示の意味
		カメラ接続	接続されたカメラの映像信号が1台でもある時に表示します。
ステータス情報		録画表示	録画待機中 録画が可能である状態の時の表示です。 ※録画中の意味ではありません。
			録画停止中 録画できない状態の表示です。点滅表示します。
		HDD 情報	ハードディスク使用率 ハードディスクの使用率を表示します。
			上書き中 上書き録画をする設定になっている時に、ハードディスク使用率が100%を超えて上書き録画中の表示です。
			USBメモリー USBメモリーが本体に挿入されている時の表示です。
	(年/月/日/時間) ※	日時情報	(現在時刻) 現在時刻(設定されている時刻)の表示です。 ※[日時表示]設定に準じます。
		画面切替 表示	自動画面切替 ライブ画面を自動画面切替している時の表示です。
カメラ情報	① ② ③ ④	カメラ番号	カメラの番号です。
		録画表示	録画中 録画中の表示です。
		ビデオロス	映像信号がない時の表示です。
		録画 モード	通常録画 [通常録画]の録画スケジュール設定になっている時間帯です。
			動体検知録画 [動体検知]の録画スケジュール設定になっている時間帯です。検知録画中は点滅しません(検知表示)。
		警報ブザー	ブザー音が鳴っている時([ビデオロス警報ブザー]または[動体検知警報ブザー]の作動中)の表示です。 ※ブザー音が[警報ブザー1]設定の場合は点灯、[警報ブザー2]の場合は点滅します。

ライブ画面の切替（4分割画面表示 / 単一画面表示）

ライブ画面は、4分割画面とカメラごとの単一画面に切り替えることができます。
下記を参考にそれぞれのボタンを押して画面を切り替えてください。



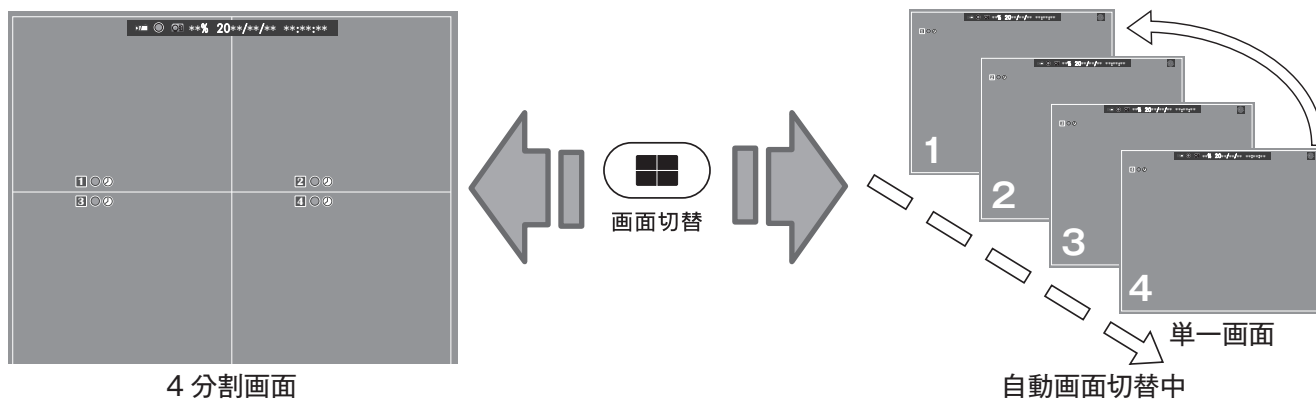
◆接続されていないカメラがある場合は、そのカメラの [カメラ機能] を [オフ] または、[ライブ画面を隠す] を [はい] に設定することで [VIDEO LOSS] 画面を表示させないようにできます。
〔設定方法➡ [カメラ設定⇨カメラ機能] P.26〕

自動画面切替機能

ライブ画面が4分割表示中に【画面切替】ボタンを押すと、ライブ画面を自動で切り替えながら「カメラ ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④」の順に、繰り返して表示します。

自動画面切替の表示中に【画面切替】ボタンを押すと、4分割画面に切り替わります。

ステータス情報の右端に「自動画面切替」マークが表示されます。



◆接続されていないカメラがある場合は、そのカメラの [カメラ機能] を [オフ] に設定することで画面をとばして表示させることができます。〔設定方法➡ [カメラ設定⇨カメラ機能] P.26〕

◆それぞれのカメラ映像を表示する時間の長さを変更できます。

〔設定方法➡ [カメラ設定⇨切替時間] P.26〕

基本的な操作方法

基本的なボタン操作

“再生中の操作について” は、P.66 をご覧ください。

本体ボタン	リモコンボタン	主な操作内容
 <p>1 2 3 4</p>	 <p>1 2 3 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブ画面を単一画面に切り替えます。
 <p>画面切替</p>	<p>MODE</p>  <hr/> <p>AUTO</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブ画面を 4 分割画面に切り替えます。 ● 4 分割画面時、自動画面切替で表示します。
 <p>録画</p>	<p>REC</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画停止中は録画を開始したり、録画待機状態にします。 ● 録画中は録画を停止します。 ※パスワード入力が必要です。 ➔ 「録画の停止・再開について」 P.22 参照
 <p>停止</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 録画（録画待機中）を停止します。 ※パスワード入力が必要です。 ➔ 「録画の停止・再開について」 P.22 参照
 <p>再生</p>	<p>PLAY</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● [再生メニュー] 画面を表示します。 ※パスワード入力が必要です。 ➔ 「再生メニュー画面について」 P.62 参照
 <p>メニュー</p>	<p>MENU</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● [メインメニュー] 画面を表示します。 ※パスワード入力が必要です。 ● [メインメニュー] 画面やライブ操作画面の表示中は、「戻る」になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの方向に移動します。 ※本文中は、【△▽<>】 = 「上下左右」 で表記しています。
 <p>設定</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● ライブ画面中は、ライブ操作画面を表示します。 ➔ 「ライブ操作画面」 P.20 参照 ● [メインメニュー] 画面内では、選択内容を変更、または、確定します。

メインメニュー画面を表示する（設定を確認・変更する場合等）

1



ライブ画面で【メニュー】ボタンを押します。

メニュー

2

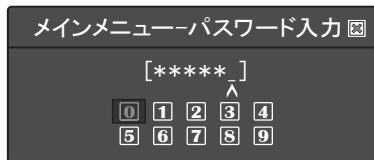
【メインメニュー-パスワード入力】画面が表示されます。【△V<>】ボタンで数字を選択し、【設定】ボタンで確定して、現在のパスワードを入力していきます。

初期値⇒ [000000] ※すべてゼロ

※入力し直す場合は、【メニュー】ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。

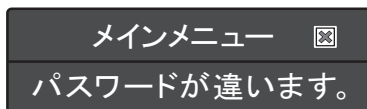


設定



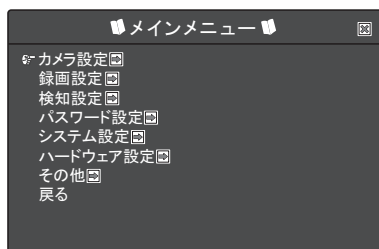
《誤ったパスワードを入力した場合》

【パスワードが違います】と表示されます。少しすると自動的にライブ画面に戻ります。最初からやり直し、再度、正しいパスワードの入力を行ってください。
※表示中に【メニュー】ボタンを押しても、ライブ画面に戻りません。



3

【メインメニュー】画面が表示されます。



それぞれの設定方法については、「各項目の設定」P.24~をご覧ください。

4

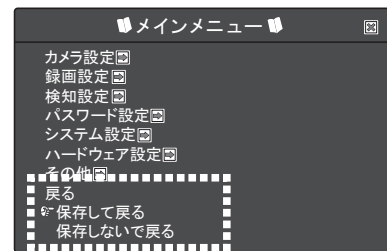


【メニュー】ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

メニュー

《設定を変更した場合》

【メインメニュー】の各項目で設定変更した場合、【メインメニュー】の【戻る】欄に【保存して戻る】、【保存しないで戻る】が表示されます。



■ 変更を保存する(設定変更を反映する)場合

【△V】ボタンで【保存して戻る】を選択し、【設定】ボタンでライブ画面に戻ります。

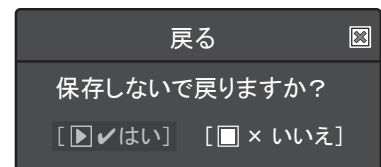
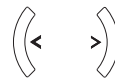
■ 変更を保存しない(設定変更を反映しない)場合

【△V】ボタンで【保存しないで戻る】を選択し、【設定】ボタンを押すと下記の確認画面が表示されます。

※【メニュー】ボタンを押した場合は、【保存しないで戻る】を選択した時と同じになります。

□ 【保存しないで戻る】選択時の確認画面

○そのまま変更を保存しない(設定変更を反映しない)場合は、【<>】ボタンで【はい】を選択し、【設定】ボタンでライブ画面に戻ります。



○変更を保存する(設定変更を反映する)場合は、【<>】ボタンで【いいえ】を選択して【設定】ボタンを押し、【メインメニュー】画面に戻って変更を保存してください。

基本的な操作方法

マウスを使用した操作

付属の USB マウスを USB 差込口に接続すると、マウスを使用して操作ができます。

画面状態	操作	主な操作内容	
ライブ画面時・再生画面時	カーソルを下に移動	●ライブ画面時：ライブ操作画面を表示します。(下記参照) ●再生画面時：再生操作画面を表示します。(P.68 参照)	
	4分割画面時	ダブルクリック	●ダブルクリックした場所(カメラ)の画面を単一画面で表示します。
		ドラッグ	●1つのカメラ映像を、別のカメラ映像の場所へドラッグすると、カメラの位置が入れ替わります。
単一画面時	ダブルクリック	●画面を4分割画面で表示します。	
[メインメニュー]内・[再生メニュー]内・操作アイコン画面内の項目選択時	移動	●項目の選択を変更(移動)します。	
	クリック	●項目の選択を変更します。	
	[]マークをクリック	●項目の選択を確定し、項目の画面に移動します。	
	[]マークをクリック	●「戻る」の操作	
	右クリック	●「戻る」の操作	

ライブ操作画面

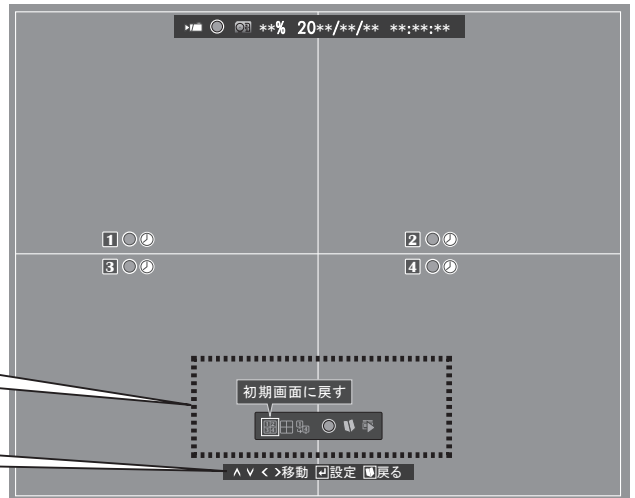
ライブ画面で【設定】ボタンを押す。または、マウスでカーソルを下に移動するとライブ操作画面が表示されます。

※マーク選択時に表示される「アイコン情報」は、各項目の設定[システム設定-画面表示設定]で表示しないように変更できます。

〔設定方法→「画面表示設定」P.45〕

ライブ操作画面

操作ボタンの補助説明表示



マーク	アイコン情報	はたらき
	初期画面に戻す	マウス操作で画面の位置を入れ替えてある時に、元の位置に戻します。 →上記、「マウスを使用した操作」参照
	4分割画面	ライブ画面を4分割画面で表示します。
	自動画面切替	【画面切替】ボタンと同じ操作です。
	録画開始	【録画】ボタンと同じ操作です。
	録画停止	【停止】ボタンと同じ操作です。
	メインメニュー	【メニュー】ボタンと同じ操作です。
	再生メニュー	【再生】ボタンと同じ操作です。

はじめに設定しましょう

1. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす

カメラの映像信号が途絶えたときにブザー音を鳴らすことで、より確実な録画ができます。

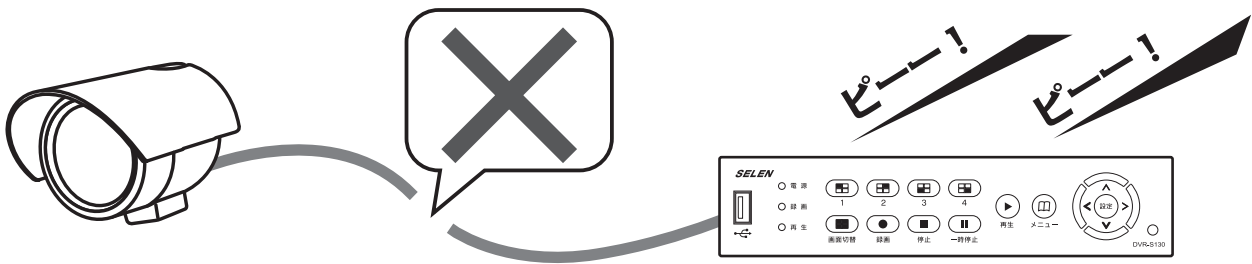
➡設定方法 [ビデオロス警報ブザー] P.38

おすすめする理由①

カメラに何らかのトラブルが生じて映像信号が途絶えたとき、そのカメラ映像がライブ画面に表示されていない（録画できていない）ことをすぐに知ることができます。

おすすめする理由②

誰かが故意にカメラの映像線を切断したとき等にブザー音を鳴らすことで、より効果的な防犯効果が期待できます。



2. 接続していないカメラの機能を [オフ] にする

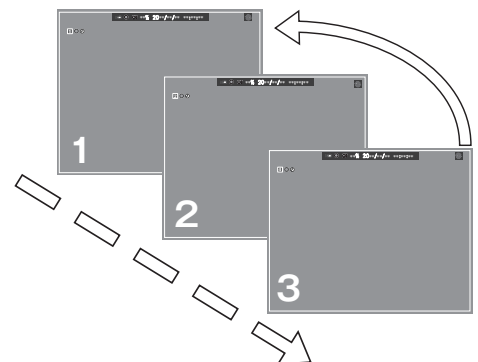
DVR に接続したカメラの台数が 1 ~ 3 台の時は、接続していないカメラ番号の [カメラ機能] を [オフ] に設定することをおすすめします。

設定方法➡ [カメラ設定⇨カメラ機能] P.26

おすすめする理由

カメラが接続されていないライブ画面には、「VIDEO LOSS」が表示されていますが、[オフ] に設定することで、黒い画面にできます。また、自動画面切替機能を使ってライブ画面を順番に表示する際、接続されていないカメラの画面を飛ばすことができます。

➡参考「自動画面切替機能」P.17



録画の停止・再開について

録画（録画待機中）を停止する

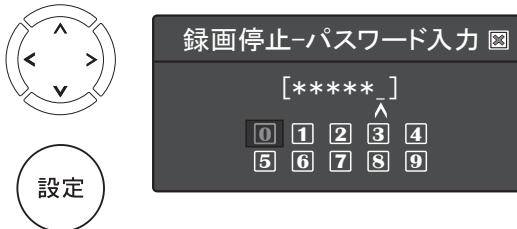
電源を切る時や、HDD（ハードディスク）をフォーマットをする時に使用します。

1 【停止】 ボタン、または 【録画】 ボタンを押します。



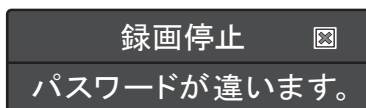
2 【録画停止 - パスワード入力】 画面が表示されます。【△V<>】 ボタンで数字を選択し、【設定】 ボタンで確定して、現在のパスワードを入力していきます。

初期値⇒ [000000] ※すべてゼロ
※入力し直す場合は、【メニュー】 ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。

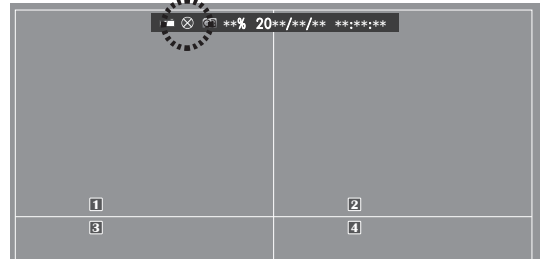


《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います] と表示されます。少しすると自動的にライブ画面に戻ります。最初からやり直し、再度、正しいパスワードの入力を行ってください。
※表示中に【メニュー】 ボタンを押しても、ライブ画面に戻りません。



3 パスワードを入力すると録画が停止します。ステータス情報の [録画表示] が [録画停止中] になっていることを確認してください。



《注意》

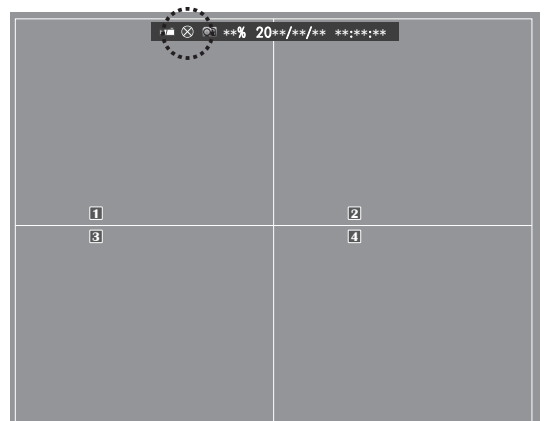
一度パスワードによる録画停止を行うと、その後パスワードによる録画停止操作のロック機能は解除されます。

再び録画停止操作にロックをかける場合は、P.19の「メインメニュー画面を表示する」もしくはP.62の「再生メニュー画面の表示方法」をご確認のうえ、一度どちらかのメニュー画面を表示してライブ画面に戻ってください。録画停止操作にロックがかかります。

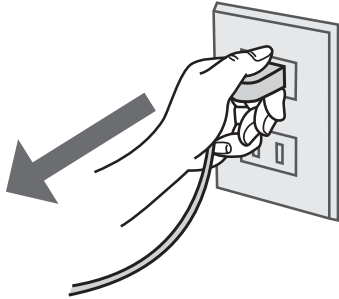
確認のため、録画中（録画待機中）に【停止】 ボタンを押して、[録画停止 - パスワード入力] 画面が表示されることをご確認ください。

電源を切る（移設の場合等）

4 ステータス情報の [録画] が [録画停止中] になっていることを確認してください。



5 専用ACアダプター（電源ケーブル）をコンセントから抜いて電源を切ります。



《注意》

引越しや移設の場合などで電源を切る時は、必ず録画や再生を停止した後に専用ACアダプター（電源ケーブル）を抜いてください。故障の原因となります。

《注意》

録画を停止した状態で、専用ACアダプター（電源ケーブル）の抜き差しを行って電源を切り、電源を入れた時は、起動後、録画待機状態になります。電源を切った時点の設定内容が保護され、録画を行う設定になっていた場合は、自動的に録画を開始します。

録画待機中にする（録画する）

「録画待機中」とは……

設定内容に従って録画のできる状態です。



録画待機中にする場合

[録画自動切替] 設定が [オフ] の時に、ステータス情報が [録画停止中] マークになっている場合は、[録画] ボタンを押します。

ライブ画面上に「録画待機中」マークが表示されたことを確認してください。

※ [録画自動切替] が [オフ] 以外に設定されている場合は、内容に従って「録画待機中」になります。

※ すべてのカメラの [カメラ機能] または [録画] が [オフ] に設定されている時に [録画] ボタンを押した場合は、[録画チャンネル設定なし] と表示された後、ライブ画面に戻ります。

録画するカメラの [カメラ機能] と [録画] の設定を [オン] に切り替えてください。

→ 設定方法 [カメラ設定] P.26

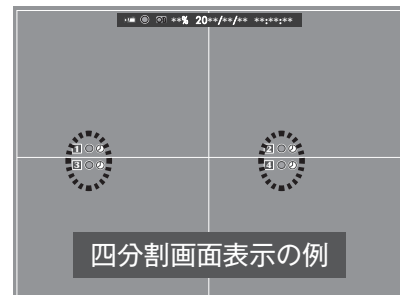
《注意》

[録画] ボタンを押しても [録画スケジュール] で [動体検知] や [録画せず] に設定されていると、録画を開始しません。

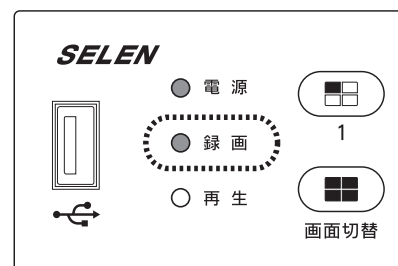
※ [動体検知] の場合は、動体を検知すれば設定に従って録画を開始します。

「録画中」の確認方法

■ 録画中は、カメラごとにライブ画面上の [録画中] マークが表示されます。



■ 1つのカメラでも録画中の場合は、前面パネルの [録画] ランプが点灯します。



本製品は、映像の再生中や各項目の設定中でも録画できます。

3 各項目の設定

設定項目		初期値	設定範囲	設定方法 掲載頁	
カメラ設定	基本設定	カメラ機能	オン	オン / オフ	P.26
		録画	オン	オン / オフ	
		ライブ画面を隠す	いいえ	はい / いいえ	
		切替時間	2 秒	2 ~ 30	
		画像位置調整	—		
	色調整	明度	128	0 ~ 255	
		コントラスト	100	0 ~ 255	
		色合い	120	0 ~ 255	
		彩度	120	0 ~ 255	
		シャープネス	8	0 ~ 15	
録画設定	録画自動切替時間		30 秒	オフ / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 60 秒	P.31
	録画スケジュール		すべて [T]	[T] 通常録画 / [M] 動体検知 / [×] 録画せず	P.32
	録画手動 設定・ 録画設定	自動設定	—	※フレームを [30] に変更します。	P.34
		解像度	高画質 (D1)	高画質 (D1) / 中画質 (ハーフ D1)	
		画質	高	低 / 中 / 高	
フレーム数	30	2 ~ 30			
検知設定	ビデオロス 検知設定	ビデオロス検知	オフ	オン / オフ	P.38
		ビデオロス警報ブザー	警報ブザー 1	警報ブザー 1 / 警報ブザー 2 / 消音	
	動体検知 設定	動体検知感度	中	最高 / 高 / 中 / 低	P.39
		録画時間	10 秒	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 60 秒 / 90 秒 / 120 秒 / 150 秒 / 180 秒	
		動体検知警報ブザー	警報ブザー 2	警報ブザー 1 / 警報ブザー 2 / 消音	
		動体検知 警報時間	10 秒	連続 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 35 秒 / 40 秒 / 45 秒 / 50 秒 / 55 秒 / 60 秒	
		単一画面切替	オフ	オフ / 1 ~ 30 秒	
		動体検知範囲設定	(全エリア)	※カメラ番号の [1 ~ 4] を設定してください。	

設定項目		初期値	設定範囲	設定方法 掲載頁	
パスワード設定		000000	※任意の数字 6 桁	P.42	
システム設定	メニュー終了時間	30 秒	オフ / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 60 秒	P.44	
	画面表示 設定	アイコン情報	オン	オン / オフ	P.45
		ステータス情報	オン ※すべて	オン / オフ ※すべて (全情報・録画表示・ HDD 情報・日時情報・画面切替表示)	
		カメラ情報	オン ※すべて	オン / オフ ※すべて (全情報・カメラ番号・ 録画表示・ビデオロス・録画モード・検知表示・ 警報ブザー)	
	日時設定	日時表示	[年 / 月 / 日]	[年 / 月 / 日] / [日 / 月 / 年] / [月 / 日 / 年]	P.48
		日時設定	(現在時刻)	《注意》使用開始時、また 1 カ月毎に、 必ず確認・設定してください。	
ハードウェア設定	HDD 設定	上書き	はい	はい / いいえ	P.50
		ハードディスク情報	—		P.51
		HDD フォーマット	—		P.52
	画面設定	境界線	オン	オン / オフ	P.53
		画面解像度	CVBS 720 × 480 NTSC	CVBS 720 × 480 NTSC / VGA 800 × 600 60Hz / VGA 800 × 600 75Hz / VGA 1024 × 768 60Hz / VGA 1024 × 768 75Hz / VGA 1280 × 1024 60Hz / VGA 1366 × 768 60Hz / VGA 1440 × 900 60Hz /	P.54
		画面位置調整	—	※ VGA 出力は調整できません。	P.55
	録音設定	録音	オン	オン / オフ	P.56
		消音	オフ	オン / オフ	
		入力音量レベル	9	1 ~ 16	
		出力音量レベル	9	1 ~ 16	
その他	USB メモリーフォーマット		—		P.57
	設定 ファイル / 初期化	設定ファイルの保存	—		P.58
		設定ファイルの読込	—		P.59
		設定初期化	—		P.60

*時間は、おおよその時間です。

■カメラ設定

3

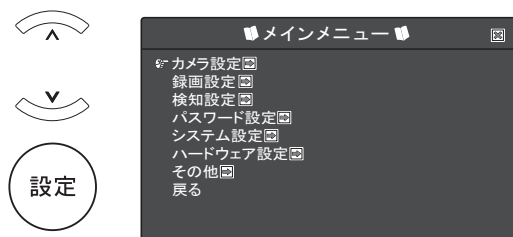
各項目の設定
カメラ設定
「カメラ設定」画面を表示する

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明	
基本設定	カメラ機能	オン	オン/オフ	カメラごとに、すべてのカメラの機能を有効にする [オン] / 停止する [オフ] を設定できます。 ※カメラ機能を [オフ] に設定したカメラのライブ画面は、すべてが非表示になります。 また、録画指数は「0」になります。
	録画	オン	オン/オフ	カメラごとに、録画する [オン] / 録画しない [オフ] を設定できます。 ※録画指数を [0] にする時は、[オフ] にしてください。
	ライブ画面を隠す	いいえ	いいえ / はい	カメラごとに、ライブ映像を隠さない [いいえ] / 隠す [はい] を設定できます。
	切替時間*	2 秒	2 ~ 30 秒	自動画面切替中のカメラごとのライブ画面を表示する時間の長さ (秒) を設定できます。
	画像位置調整	—	—	モニターに表示されている画面の位置を調整できます。
色調整	明度	128	0 ~ 255	カメラごとに画面の明るさを調整できます。
	コントラスト	100	0 ~ 255	カメラごとに画面のコントラストを調整できます。
	色合い	120	0 ~ 255	カメラごとに画面の色合いを調整できます。
	彩度	120	0 ~ 255	カメラごとに画面の彩度を調整できます。
	シャープネス	8	0 ~ 15	カメラごとに画面のシャープネスを調整できます。

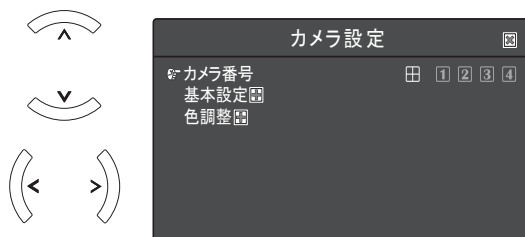
*時間は、おおよその時間です。

[カメラ設定] 画面を表示する

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△V】 ボタンで [カメラ設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



- 2** [カメラ設定] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンで [カメラ番号] に合わせ、【<>】
 ボタンで設定したいカメラを選択します。



[カメラ番号] 項目で選択するマークについて

- 田 ⇒ 4 台のカメラ設定を一度に変更する場合
- ① ⇒ [カメラ①] の設定を変更する場合
- ② ⇒ [カメラ②] の設定を変更する場合
- ③ ⇒ [カメラ③] の設定を変更する場合
- ④ ⇒ [カメラ④] の設定を変更する場合

[カメラ] の選択を切り替えると、選択されているカメラの設定内容が表示されます。
 また、[カメラ設定] 画面の背景には選択されているカメラの映像が表示されます。

田を選択中 [----] と表示されている項目は、4 台のカメラが同じ設定状態でないことを意味します。

★ [カメラ設定] 選択後は、下記のページを参照し、続けて **3** から操作を行ってください。

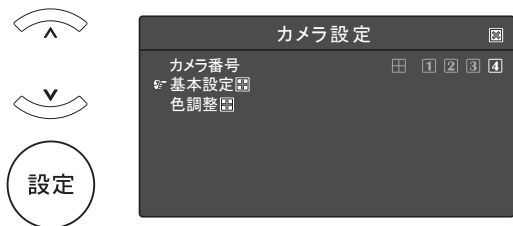
- カメラ機能 …………… P.27
- 録画 …………… P.27
- ライブ画面を隠す … P.28
- 切替時間 … P.28
- 画像位置調整 …… P.29
- 色調整 …… P.30

カメラ機能

例 [カメラ4]のカメラ機能を停止する

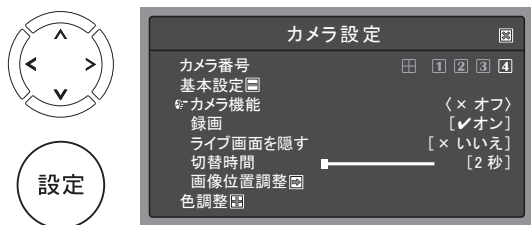
[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
 (表示方法→「[カメラ設定] 画面を表示する」 P.26)

3 〈操作2でカメラ4を選択〉
 【△▽】ボタンで[カメラ設定]画面の[基本設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。



4 基本設定項目が表示されます。
 ※再度、[基本設定]を選択中に【設定】ボタンを押すと、基本設定項目を閉じます。

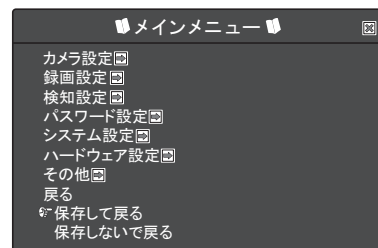
【△▽】ボタンで[カメラ機能]を選択し、【設定】ボタンまたは【<>】ボタンで、[カメラ機能]の[オン] / [オフ]を切り替えます。



5 続けて他の[カメラ設定]画面の項目を変更する場合は、P.26の2から操作を行います。
 [カメラ設定]を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



6 [メインメニュー]画面に戻ります。
 P.19を参考に設定変更を反映させます。



《注意》

4台すべての[カメラ機能]または[録画]を[オフ]に設定した場合、録画(録画待機状態)自体を停止します。その際、【録画】ボタンを押しただけでは録画を再開できません。

録画を再開するときは、[カメラ機能]と[録画]を両方とも[オン]に変更して、設定を保存します。

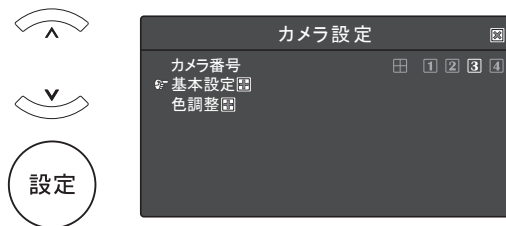
[録画自動切替時間]設定(→P.31)が[オフ]でなければ設定内容に従い録画を開始します。[オフ]に設定されている場合は、【録画】ボタンを押すと録画を開始します。

録画

例 [カメラ3]のライブ映像を録画しないようにする

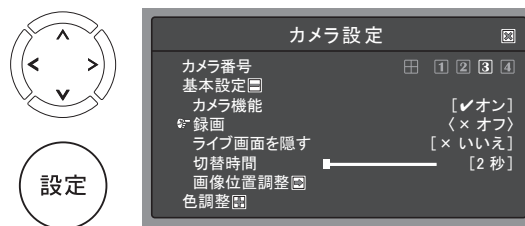
[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
 (表示方法→「[カメラ設定] 画面を表示する」 P.26)

3 〈操作2でカメラ3を選択〉
 【△▽】ボタンで[カメラ設定]画面の[基本設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。



4 基本設定項目が表示されます。
 ※再度、[基本設定]を選択中に【設定】ボタンを押すと、基本設定項目を閉じます。

【△▽】ボタンで[録画]を選択し、【設定】ボタンまたは【<>】ボタンで、録画の[オン] / [オフ]を切り替えます。

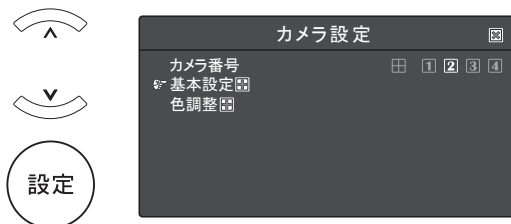


ライブ画面を隠す

例 [カメラ②]の映像をライブ画面に映さないようにする

[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
〔表示方法〕→「[カメラ設定] 画面を表示する」P.26)

3 〈操作②でカメラ②を選択〉
【△V】ボタンで[カメラ設定]画面の[基本設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。

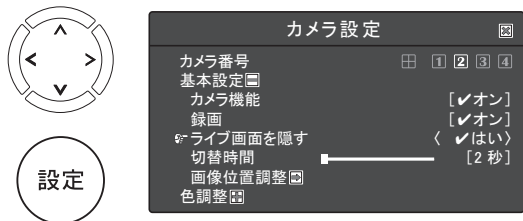


4 基本設定項目が表示されます。
【△V】ボタンで[ライブ画面を隠す]を選択し、【設定】ボタンまたは【<>】ボタンで、[はい] / [いいえ] を切り替えます。


[いいえ] →ライブ画面を隠さない(表示する)

[はい] →ライブ画面を隠す(表示しない)

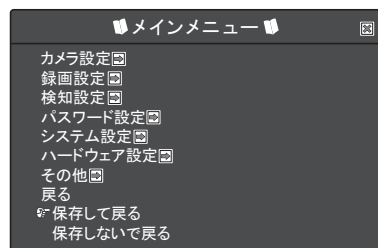
※ [はい] を選択すると、そのカメラの映像が非表示になります。



※再度、[基本設定]を選択中に【設定】ボタンを押すと、基本設定項目を閉じます。

5  続けて他の[カメラ設定]画面の項目を変更する場合は、P.26の②から操作を行います。
[カメラ設定]を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。

6 [メインメニュー]画面に戻ります。
P.19を参考に設定変更を反映させます。

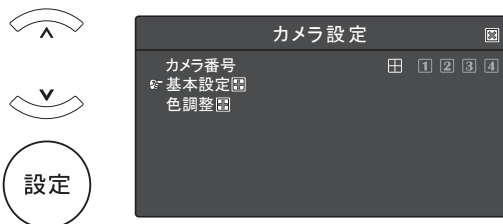


切替時間〔参考〕→「自動画面切替機能」P.17)

例 カメラを4台とも自動画面切替時に5秒づつ表示させる

[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
〔表示方法〕→「[カメラ設定] 画面を表示する」P.26)

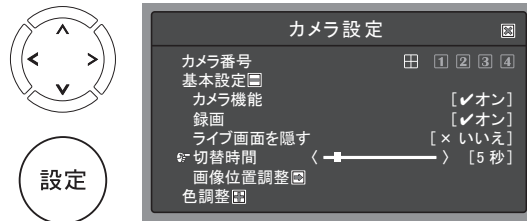
3 〈操作②でカメラすべて【田】を選択〉
【△V】ボタンで[カメラ設定]画面の[基本設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。



4 基本設定項目が表示されます。
【△V】ボタンで[切替時間]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、設定時間を切り替えます。

設定範囲 → [2 ~ 30 秒]

※ [30 秒] で【>】ボタンまたは【設定】ボタンを押すと[2 秒]へ移動し、[2 秒]で【<】ボタンを押すと[30 秒]へ移動します。



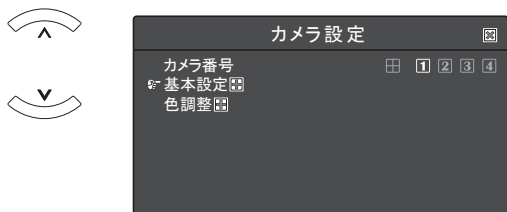
※再度、[基本設定]を選択中に【設定】ボタンを押すと、基本設定項目を閉じます。

画像位置調整

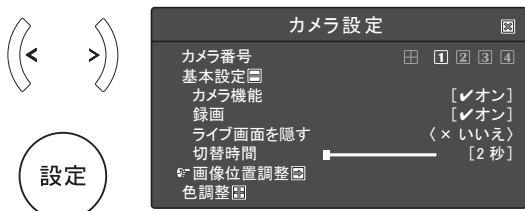
例 [カメラ①] ライブ映像の画像位置を調整する

[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
(表示方法→「[カメラ設定] 画面を表示する」 P.26)

3 〈操作②でカメラ①を選択〉
【△▽】ボタンで [カメラ設定] 画面の [基本設定] を選択し、【設定】ボタンを押します。



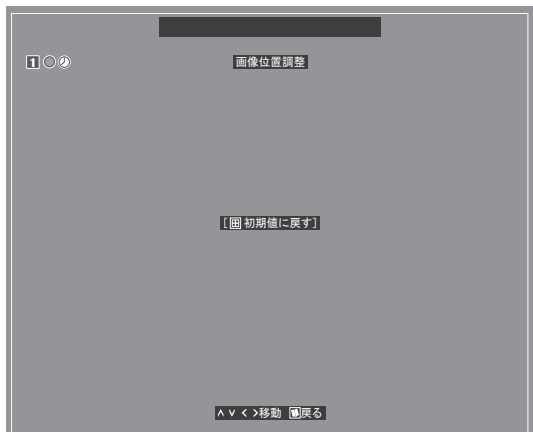
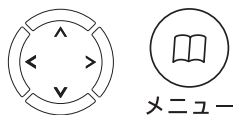
4 基本設定項目が表示されます。
【△▽】ボタンで [画像位置調整] を選択し、【設定】ボタンを押します。



※再度、[基本設定] を選択中に【設定】ボタンを押すと、基本設定項目を閉じます。

5 [画像位置調整] 画面が表示されます。
ライブ映像を見ながら、【△▽<>】ボタンで画像の位置を調整します。
終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

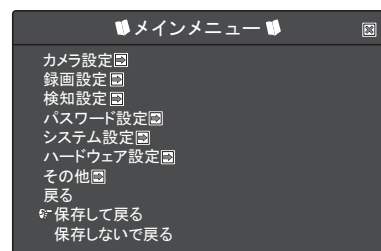
※【画面切替】ボタンを押すと、画像位置が初期値に戻ります



6 続けて他の [カメラ設定] 画面の項目を変更する場合は、P.26 の②から操作を行います。
[カメラ設定] を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



7 【メインメニュー】画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。

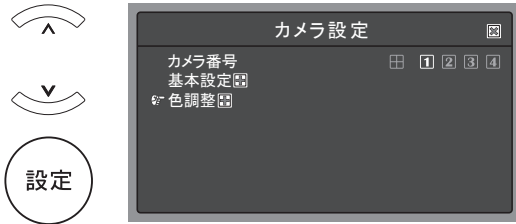


色調整

例 [カメラ①] の画面の色を調整する

[カメラ設定] 画面を表示した後からの説明になります。
〔表示方法→「[カメラ設定] 画面を表示する」 P.26〕

- 3** 〈操作②でカメラ①を選択〉
【△V】ボタンで[カメラ設定]画面の[色調整]を選択し、【設定】ボタンを押します。

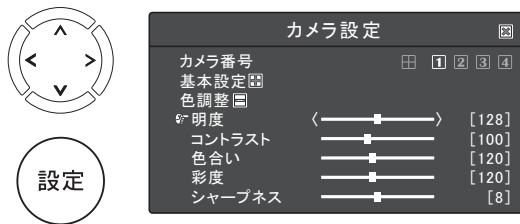


- 4** 色調整項目が表示されます。
【△V】ボタンで調整したい項目を選択し、ライブ映像を見ながら、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン（【>】と同じ）で、色を調整していきます。この操作を繰り返して、お好みの色に調整します。

〈設定範囲〉

- 【明度】 → [0 ~ 255]
- 【コントラスト】 → [0 ~ 255]
- 【色合い】 → [0 ~ 255]
- 【彩度】 → [0 ~ 255]
- 【シャープネス】 → [0 ~ 15]

※最大値で【>】ボタンまたは【設定】ボタンを押すと最小値へ移動し、最小値で【<】ボタンを押すと最大値へ移動します。



※画面は [明度] を調整中の場合です。

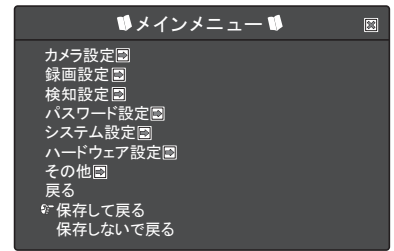
※再度、[色調整] を選択中に【設定】ボタンを押すと、色調整項目を閉じます。

- 5** 続けて他の [カメラ設定] 画面の項目を変更する場合は、P.26 の②から操作を行います。
[カメラ設定] を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



メニュー

- 6** [メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



録画設定

録画自動切替時間

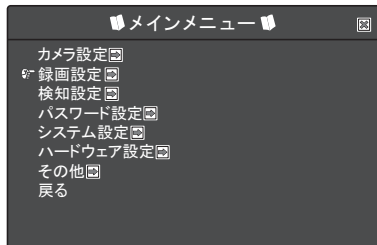
設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
録画自動切替時間*	30 秒	オフ/10 秒/20 秒/30 秒/ 40 秒/50 秒 60 秒	電源投入時等の際に、自動的に録画を開始するまでの時間です。 また、4 台のカメラの[カメラ機能] や[録画] 設定を[オフ] から[オン] に変更した時にも、設定した時間で自動的に録画を開始します。 ※設定が[オフ] の時は、録画を開始しません。 ※[メインメニュー] や[再生メニュー] 画面を表示中は、この機能は働きません。

*時間は、おおよその時間です。

例 録画自動切替の時間を [50 秒] に変更する

1

[メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【△V】 ボタンで [録画設定] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。



3

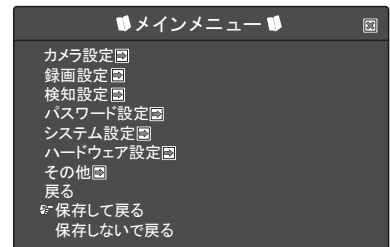
続けて他の [録画設定] 画面の項目も変更可能です。
[録画設定] を終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



メニュー

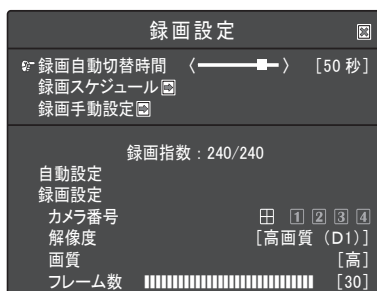
4

[メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



2

[録画設定] 画面が表示されます。
【△V】 ボタンで [録画自動切替時間] を選択し、【<>】 ボタンまたは【設定】 ボタン (【>】と同じ) で、設定時間を切り替えます。



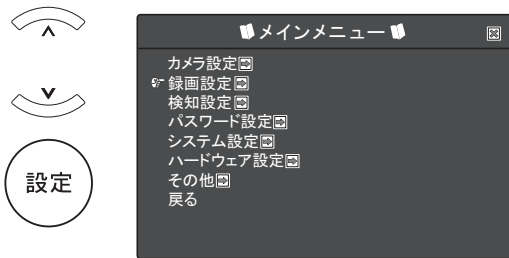
※ [60 秒] で【>】 ボタンまたは【設定】 ボタンを押すと [オフ] へ移動し、[オフ] で【<】 ボタンを押すと [60 秒] へ移動します。

録画スケジュール

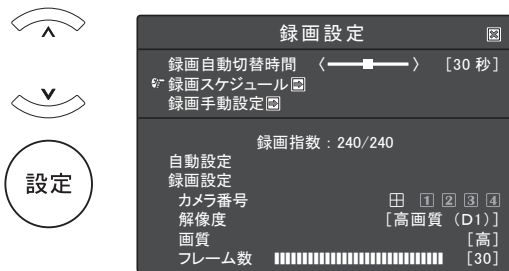
設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
録画スケジュール	通常録画 (T) ※すべて	通常録画 (T) / 動体検知 (M) / 録画せず (×)	カメラごとに曜日別・1時間単位での [通常録画]・[動体検知]・[録画せず] の設定ができます。 [T] 通常録画：常に録画します。 [M] 動体検知：動体を検知した時に録画します。 [×] 録画せず：録画をしません。

例 [カメラ①] を常に [動体検知] の録画に設定する。

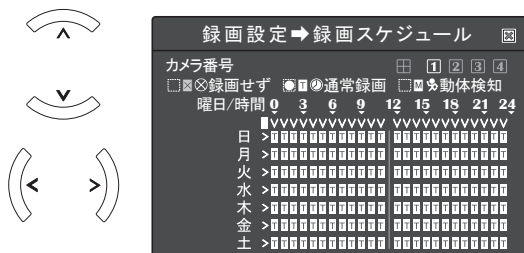
- 1 [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
[△V] ボタンで [録画設定] を選択し、
[設定] ボタンを押します。



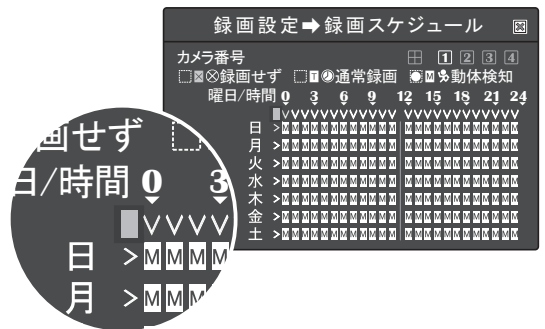
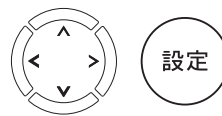
- 2 [録画設定] 画面が表示されます。
[△V] ボタンで [録画スケジュール] を選択し、
[設定] ボタンを押します。



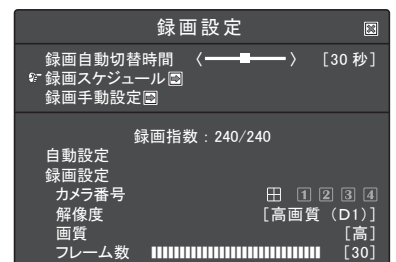
- 3 [録画スケジュール] 画面が表示されます。
[△V] ボタンで [カメラ番号] へ移動し、[<>] ボタンを押して設定するカメラを選択します。



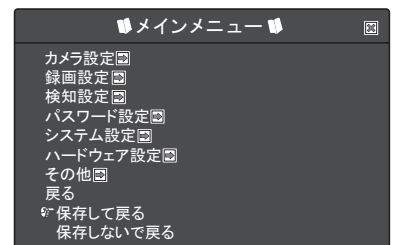
- 4 [△V<>] ボタンで [■] (全選択部分) に合わせた後、[設定] ボタンを繰り返し押して [T] / [M] / [×] を切り替えます。



- 5 設定を終了する場合は、[メニュー] ボタンを押します。[録画設定] 画面に戻ります。続けて他の [録画設定] 画面の項目も変更可能です。終了する場合は、[メニュー] ボタンを押します。



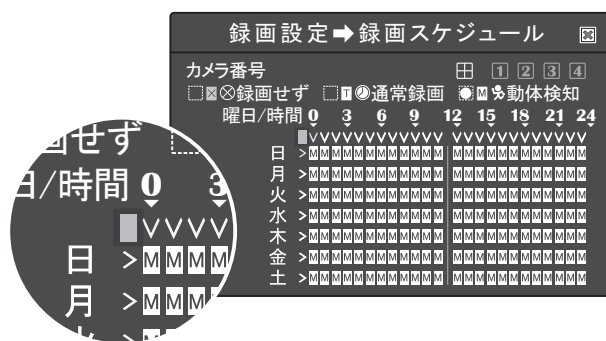
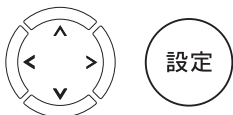
- 6 [メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



【録画スケジュール】設定のいろいろな変更方法〈例〉

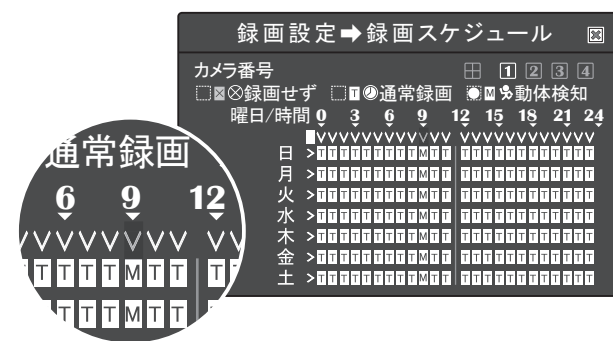
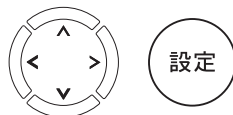
例 すべてのカメラを常に【動体検知】の録画に設定する。

【△V<>】ボタンで【■】(全選択部分)にあわせて、【設定】ボタンを繰り返し押し、【M】に切り替えます。



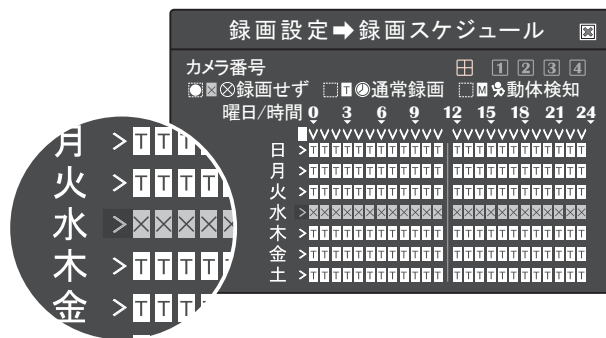
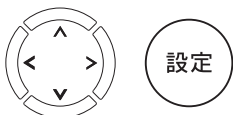
例 【カメラ①】の午前9時～10時(10時は含まず)を【動体検知】の録画に設定する。

【△V<>】ボタンで[(“9”のV(時間選択部分))]に合わせ、【設定】ボタンで【M】に切り替えます。



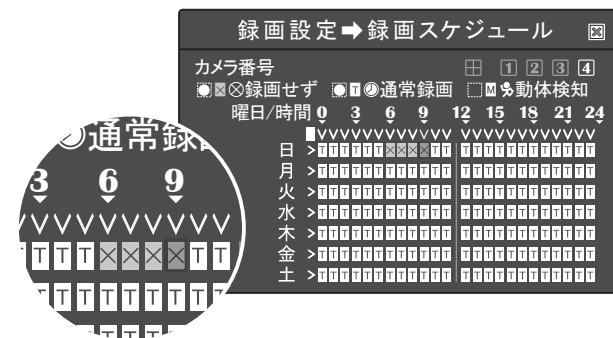
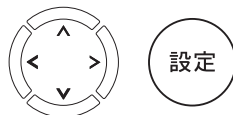
例 すべてのカメラを水曜日終日【録画せず】に設定する。

【△V<>】ボタンで、“水”の>(曜日選択部分)に合わせ、【設定】ボタンで【×】に切り替えます。



例 【カメラ④】の日曜日、午前6時～10時(10時は含まず)を【録画せず】に設定する。

【△V<>】ボタンで、順番に【日】の6・7・8・9の■にそれぞれ合わせ、【設定】ボタンで1つずつ【×】に切り替えます。



《注意》【録画せず】【通常録画】【動体検知】を選択中に【設定】ボタンを押した場合

- 【録画スケジュール】設定画面を開いた時は、【■】(全選択部分)を選択中の状態です。すべての時間帯が【録画せず】【通常録画】【動体検知】の順番に変更されます。
- 一度、【曜日/時間】選択部分へ移動し、【録画せず】【通常録画】【動体検知】の選択部分に戻った場合は、戻る際に通過した【V(時間選択部分)】または【■(全選択部分)】を選択した状態になります。その時間帯が【録画せず】【通常録画】【動体検知】の順番に変更されます。

録画設定〈解像度・画質・フレーム数〉

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明	
録画指数	《240》	《2～240》	録画設定の内容により自動的に数値が表示されます。録画指数が大きいほど、全体の録画時間は短くなります。※録画時間の目安に使用します。カメラの録画指数を [0] にする時は、[カメラ設定-カメラ機能] または [録画] を [オフ] にしてください。	
自動設定	—	—	フレーム数を [30] に設定します。設定変更中に [自動設定] を選択して【設定】ボタンを押すと、すべてのカメラのフレーム数が [30] に変更されます。	
録画設定	解像度	高画質 (D1)	高画質 (D1) / 中画質 (ハーフD1)	カメラごとに録画時の解像度を設定できます。※高画質 (D1) は、より鮮明な映像で記録されますが、中画質 (ハーフD1) よりも全体の録画時間は短くなります。
	画質	高	高 / 中 / 低	カメラごとに録画時の画質を設定できます。※画質は高いほど鮮明な映像で記録されますが、画質が低いときよりも全体の録画時間は短くなります。
	フレーム数	30 ※カメラすべて	2～30	カメラごとにフレーム数を設定できます。フレーム数が多いほど、よりスムーズな動きで録画します。※録画フレーム数が多いほど、全体の録画時間は短くなります。

録画時間の目安

画質	録画指数 ※録音なしの場合です。() 内は録音ありの場合です。										
	240	210	180	150	120	90	60	30	15	7	2
高	11日	12日	14日	17日	21日	28日	42日	80日	96日	111日	384日 (383日)
中	27日	29日	36日	41日	54日	72日	108日	164日	176日	240日 (239日)	389日 (387日)
低	32日	34日	42日	46日	64日	72日	128日	165日	210日	363日 (362日)	391日 (390日)

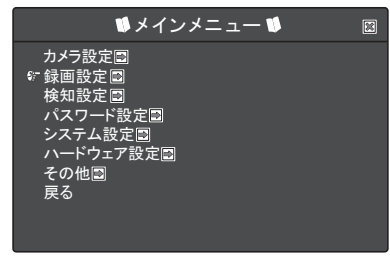
〈注意〉

- 「録画時間の目安」は、あくまでも目安です。録画時間(日数)を保証するものではありません。
- 「録画時間の目安」に記載した録画時間(日数)は、録画される映像(色、明るさ、動き等の違い)により極端に短くなる場合があります。

例 [カメラ1] の解像度を [中画質 (ハーフD 1)]、画質を [中]、フレーム数を [20] に変更する

1

[メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 [△▽] ボタンで [録画設定] を選択し、
 [設定] ボタンを押します。



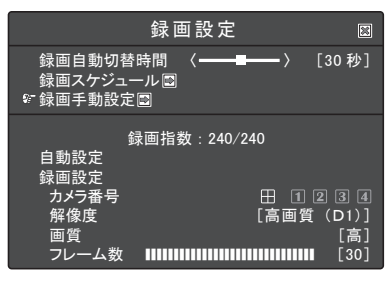
[解像度] [画質] [フレーム数] の変更方法は 2 通りあります。

[録画手動設定] から変更する



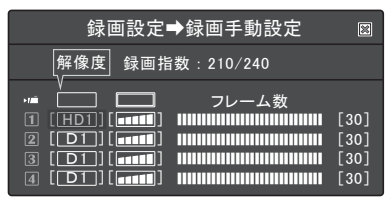
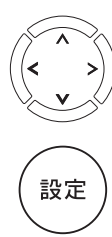
2

[録画設定] 画面が表示されます。
 [△▽] ボタンで [録画手動設定] を選択し、
 [設定] ボタンを押します。



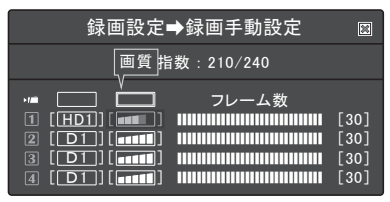
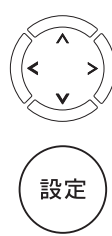
3

[録画手動設定] 画面が表示されます。
 [△▽<>] ボタンで変更するカメラの [解像度] を選択し、
 [設定] ボタンで [高画質 (D 1)]・
 [中画質 (ハーフD 1)] を切り替えます。



4

[△▽<>] ボタンで変更するカメラの [画質] を選択し、
 [設定] ボタンで [■ (低)]・[■■■■ (高)] を切り替えます。

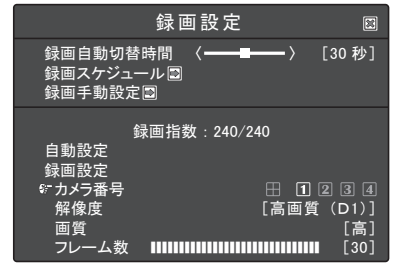


[録画設定] から変更する



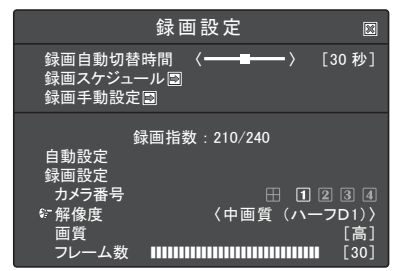
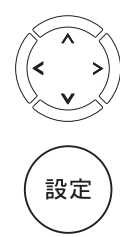
2

[録画設定] 画面が表示されます。
 [△▽] ボタンで [カメラ番号] へ移動し、
 [< >] ボタンまたは [設定] ボタン ([>] と同じ) で
 変更したいカメラを選択します。



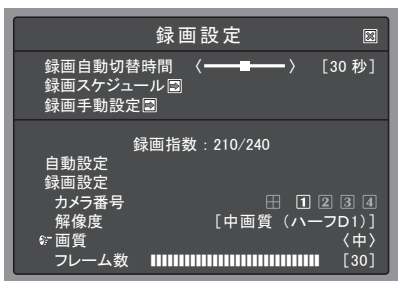
3

[△▽] ボタンで [解像度] を選択し、
 [< >] ボタンまたは [設定] ボタン ([>] と同じ) で
 [高画質 (D 1)]・[中画質 (ハーフD 1)] を切り替えます。

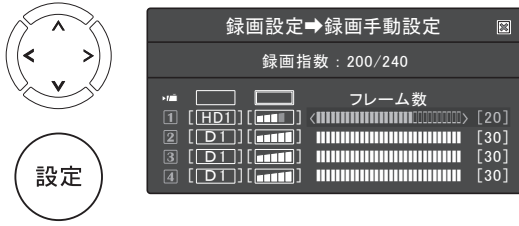


4

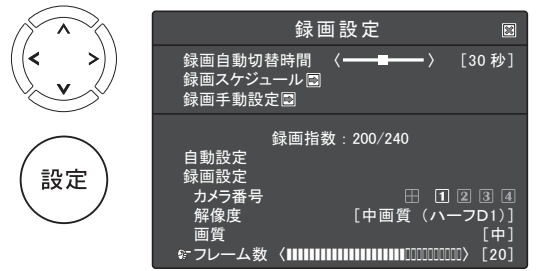
[△▽] ボタンで [画質] を選択し、
 [< >] ボタンまたは [設定] ボタン ([>] と同じ) で
 [低]・[中]・[高] を切り替えます。



5 【△V<>】ボタンで変更するカメラの[フレーム数]を選択し、【設定】ボタンで数値を切り替えます。



5 【△V】ボタンで[フレーム数]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で数値を切り替えます。



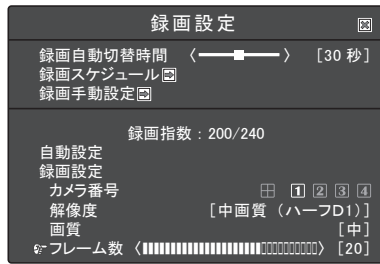
6 設定を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



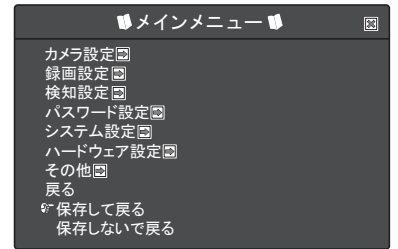
6 続けて他の[録画設定]画面の項目も変更可能です。終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



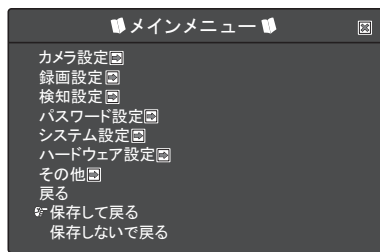
7 [録画設定]画面に戻ります。続けて他の[録画設定]画面の項目も変更可能です。終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



7 [メインメニュー]画面に戻ります。P.19を参考に設定変更を反映させます。



8 [メインメニュー]画面に戻ります。P.19を参考に設定変更を反映させます。



MEMO

検知設定

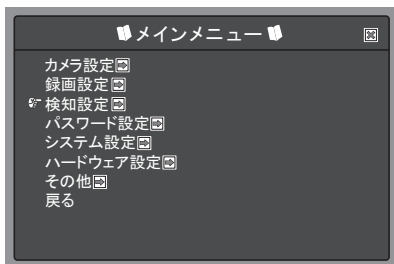
ビデオロス検知設定

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
ビデオロス検知	オフ	オン/オフ	映像信号を受信しなくなった(ビデオロス検知)時に、警報音を鳴らす[オン] / 鳴らさない[オフ]をカメラごとに設定できます。
ビデオロス警報ブザー	警報ブザー 1	警報ブザー 1/ 警報ブザー 2/ 消音	カメラごとにビデオロスを検知したときの警報音を選んで設定できます。 ※[消音] 設定になっている場合は、ビデオロス検知が[オン]の設定になっている場合も警報音は鳴りません。

例 カメラ②の断線時、ビデオロス警報ブザーを[警報ブザー 2]で鳴らす。

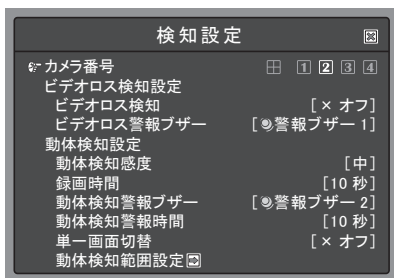
1

- [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
- [△V] ボタンで[検知設定]を選択し、
[設定] ボタンを押します。



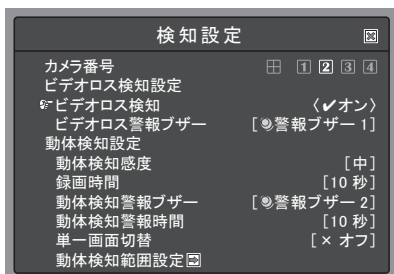
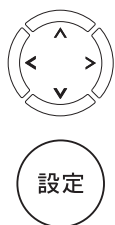
2

- [検知設定] 画面が表示されます。
- [△V] ボタンで[カメラ番号]へ移動し、[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>]と同じ)で変更したいカメラを選択します。



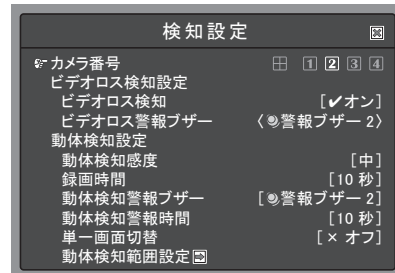
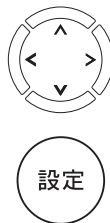
3

- [△V] ボタンで[ビデオロス検知]を選択し、[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>]と同じ)で、[オン] / [オフ] を切り替えます。



4

- [△V] ボタンで[ビデオロス警報ブザー]を選択し、[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>]と同じ)で、[消音] / [警報ブザー 1] / [警報ブザー 2] を切り替えます。



5

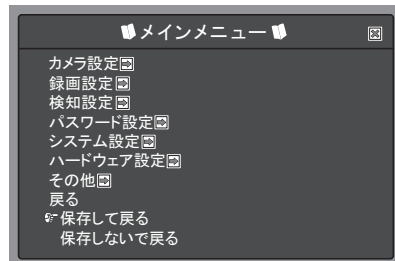
- 続けて他の[検知設定]画面の項目も変更可能です。
- 終了する場合は、[メニュー] ボタンを押します。



メニュー

6

- [メインメニュー] 画面に戻ります。
- P.19 を参考に設定変更を反映させます。



《ビデオロス警報ブザーの止め方》

- ①ビデオロス警報ブザーの鳴っているカメラの映像入力信号を復帰させる。
- ②[ビデオロス警報ブザー] の設定を[オフ]に切り替える。

※[メインメニュー] 画面を表示した時点で鳴りやみますが、設定を変更せずに[メインメニュー] 画面を閉じると再び鳴り始めます。

動体検知設定

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
動体検知感度	中	低 / 中 / 高 / 最高	カメラごとに動体検知させる感度を設定できます。
録画時間*	10 秒	5秒/10秒/15秒/ 20秒/25秒/30秒/ 45秒/60秒/90秒/ 120秒/150秒/180秒	カメラごとに動体検知したときに録画を行うおおよその時間(秒)を設定できます。 ※録画は、動体検知すると設定された時間の長さで録画を行い、動体検知が続くと録画し続けます。
動体検知警報ブザー	警報ブザー 2	警報ブザー 1/ 警報ブザー 2/ 消音	カメラごとに動体を検知したときの警報音を選んで設定できます。 ※[消音] 設定になっている場合は、動体を検知した場合も警報音は鳴りません。
動体検知警報時間*	10 秒	連続/5秒/10秒/15秒/ 20秒/25秒/30秒/ 35秒/40秒/45秒/ 50秒/55秒/60秒	カメラごとに動体検知したときに、警報音を鳴らす時間を設定できます。 ※[連続] を設定した場合は、警報音は、メニュー画面を開くまでなり続けます。 ※警報音は、動体を検知すると設定された時間の長さで鳴り、動体検知が続くと鳴り続けます。
単一画面切替*	オフ	オフ/1 ~ 30 秒	動体を検知したときに、動体を検知したカメラのライブ映像を単一画面で表示する(1 ~ 30 秒) / 表示しない[オフ] をカメラごとに設定できます。
動体検知範囲設定	全範囲	—	カメラごとにライブ映像内の動体を検知する範囲を設定できます。

*時間は、おおよその時間です。

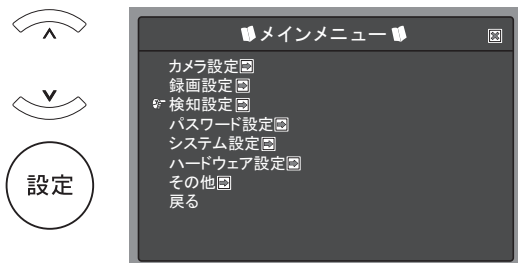
《注意》

動体検知録画を行うには、[録画スケジュール] (➡ P.32) で [動体検知] に設定する必要があります。

例 カメラ③を動体検知感度 [高]、録画時間 [30 秒]、動体検知警報ブザー [警報ブザー 2]、動体検知警報時間 [30 秒]、単一画面切替 [30 秒]、動体検知範囲設定を変更する

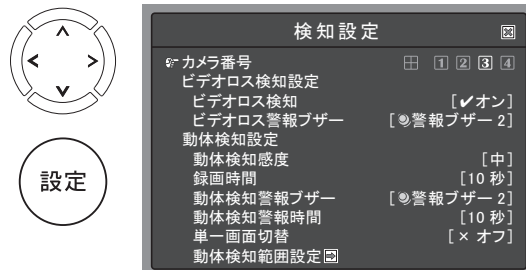
1

[メインメニュー] 画面を表示します。
➡「メインメニュー画面を表示する」 P.19
【△▽】 ボタンで [検知設定] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。

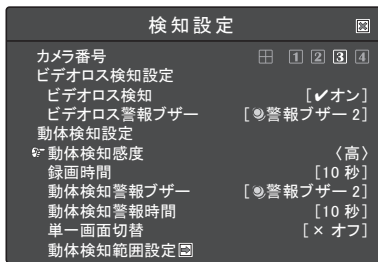


2

[検知設定] 画面が表示されます。
【△▽】 ボタンで [カメラ番号] へ移動し、【<>】 ボタンまたは【設定】 ボタン (【>】 と同じ) で変更したいカメラを選択します。



- 3 【△V】ボタンで[動体検知感度]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、[低] / [中] / [高] / [最高]を切り替えます。



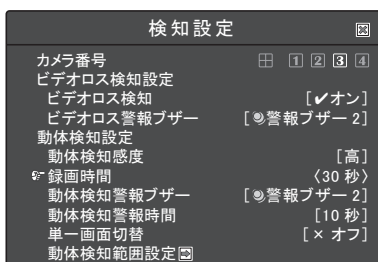
《参考》

[動体検知設定]の項目に入ると、設定画面背面に見えるライブ画面の検知している部分が赤色に変化します。

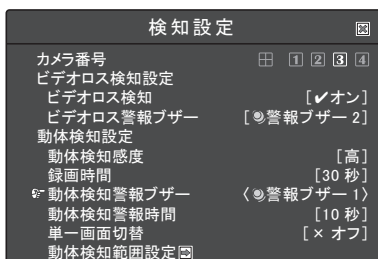
[動体検知感度]の設定時に、ご確認ください。

ただし、検知録画が開始されることの確認ではありません。検知録画開始の確認については、ライブ画面に戻り、画面上でご確認ください。

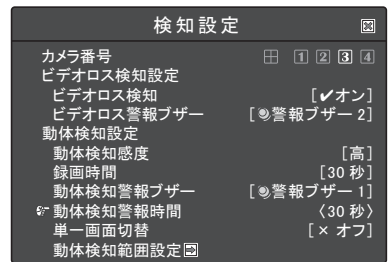
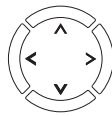
- 4 【△V】ボタンで[録画時間]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、録画時間 [5 ~ 180 秒] を切り替えます。



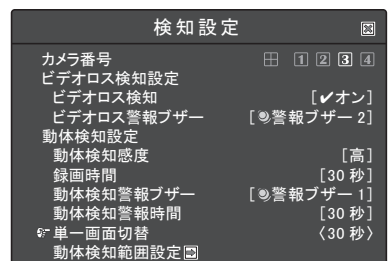
- 5 【△V】ボタンで[動体検知警報ブザー]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、[消音] / [警報ブザー 1] / [警報ブザー 2] を切り替えます。



- 6 【△V】ボタンで[動体検知警報時間]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、[連続] / [5 ~ 60 秒] を切り替えます。

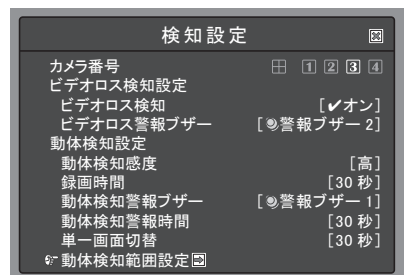


- 7 【△V】ボタンで[単一画面切替]を選択し、【<>】ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、[オフ] / [1 ~ 30 秒] を切り替えます。



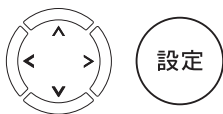
- 8 【△V】ボタンで[動体検知範囲設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。

※ 4台のカメラ設定を一度に変更する[田]が選択されている場合は、[動体検知範囲設定]項目を選択することはできません。



9

〔動体検知範囲設定〕画面が表示されます。ライブ映像を確認しながら、【△▽<>】ボタンでマスの【+】を移動し、【設定】ボタンで動体検知する【□（緑）】と動体検知しない【■（黄色枠のみ）】を切り替えます。



【再生】ボタン

再生

→全範囲を「検知する」に変更

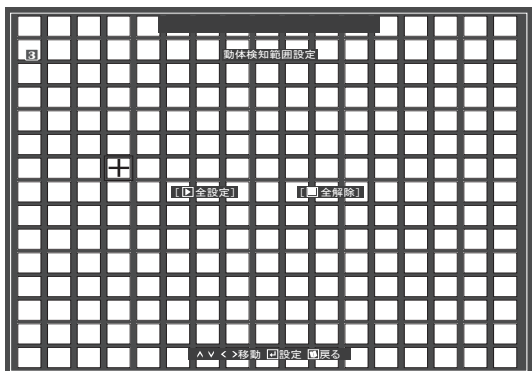


【停止】ボタン

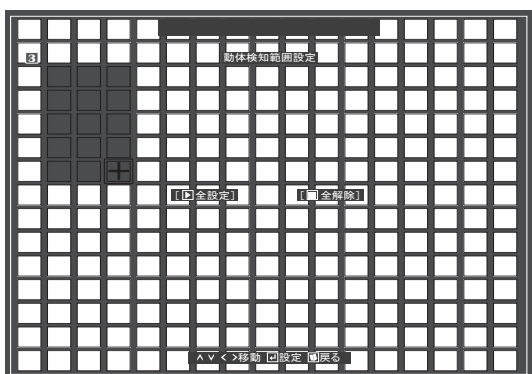
停止

→全範囲を「検知しない」に変更

●全範囲が選択されている状態（初期値）



●一部を〔検知しない〕範囲にした状態



繰り返し操作を行い、動体を検知する範囲が選択し終わったら【メニュー】ボタンを押します。



メニュー

《注意》

全範囲を「検知しない」に設定した場合は、動体検知の録画をしません。

10

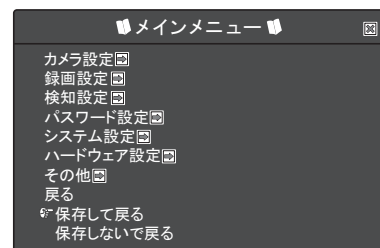
〔検知設定〕画面に戻ります。続けて他の〔検知設定〕画面の項目も変更可能です。終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



メニュー

11

〔メインメニュー〕画面に戻ります。P.19を参考に設定変更を反映させます。



3

各項目の設定

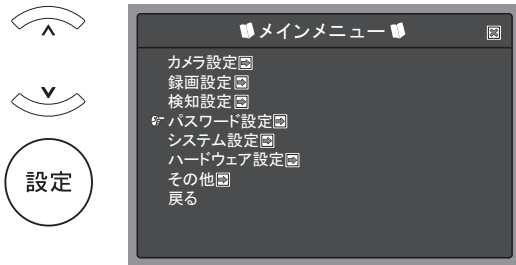
検知設定 ■ 動体検知設定

■パスワード設定 《注意》変更したパスワードは、忘れないように管理してください。

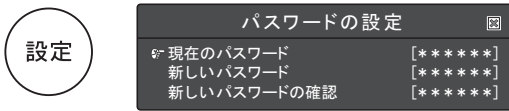
設定項目	初期値	設定項目内容の説明
パスワード	000000	[メインメニュー]、[再生メニュー]、[HDD フォーマット]、[録画停止] で使用するパスワード（すべて共通）を変更できます。

例 パスワードを「123456」に変更する

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 [△V] ボタンで [パスワード設定] を選択し、
 [設定] ボタンを押します。



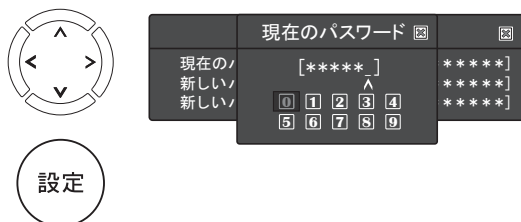
- 2** [パスワードの設定] 画面を表示します。
 [現在のパスワード] が選択されているので、
 [設定] ボタンを押します。



- 3** [現在のパスワード] 入力画面が表示されます。
 [△V<>] ボタンで数字を選択し、[設定] ボタンで確定して、現在のパスワードを入力していきます。

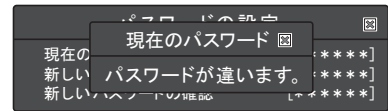
初期値⇒ [000000] ※すべてゼロ

※入力し直す場合は、[メニュー] ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。

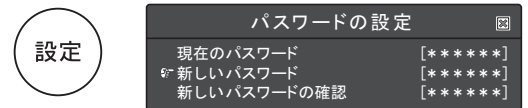


入力が終わると自動的に [現在のパスワード] 入力画面を閉じます。

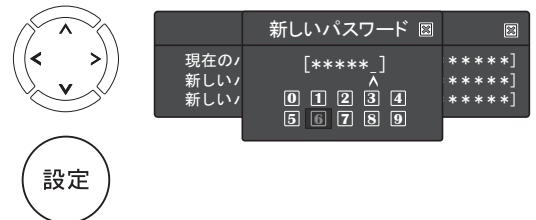
《誤ったパスワードを入力した場合》
 [パスワードが違います。] と表示され、
 [パスワードの設定] 画面に戻ります。
 操作②からやり直し、正しいパスワードの入力を行ってください。
 ※表示中に [メニュー] ボタンを押すと、
 [パスワードの設定] 画面に戻ります。



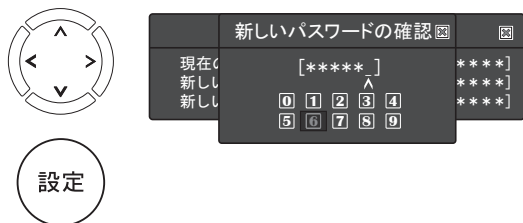
- 4** [パスワードの設定] 画面に戻ります。
 [新しいパスワード] が選択されているので、
 [設定] ボタンを押します。



- 5** [新しいパスワード] 入力画面が表示されます。
 [△V<>] ボタンで数字を選択し、[設定] ボタンで確定して、変更したいパスワードを入力していきます。入力が終わると自動的に [新しいパスワードの確認] 入力画面になります。



6 【△V<>】ボタンで数字を選択し、【設定】ボタンで確定して、変更したいパスワードを再度入力していきます。

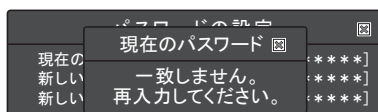


《新しいパスワードと

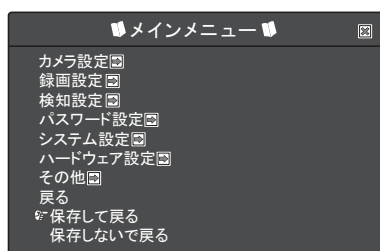
異なったパスワードを入力した場合》

[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] で異なったパスワードを入力した場合は、[一致しません。再入力してください。] と表示され、操作 の画面に戻ります。再度新しいパスワードを入力をください。

※表示中に【メニュー】ボタンを押すと、[パスワードの設定] 画面に戻ります。



7 入力が終わると [パスワード変更完了!!!] が表示され、[メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



《注意》

[パスワード変更完了!!!] 表示後も、この時点ではまだ新しいパスワードがシステム上に反映されていません。

新しいパスワードは、[保存して戻る] を選択してライブ画面に戻った時点でシステム上に反映されます。

■システム設定

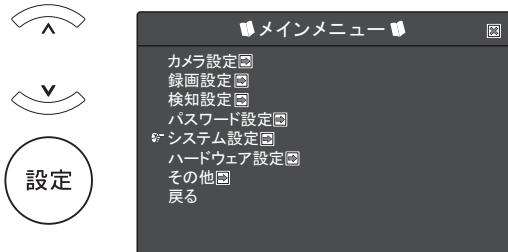
メニュー終了時間

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
メニュー終了時間*	30 秒	オフ/ 10 秒/20 秒/ 30 秒 40 秒/ 50 秒/60 秒	パスワード入力後の [メインメニュー]、[再生メニュー] 画面を表示中、無操作でいた時に画面を自動で終了するまでの時間を設定できます。 《注意》 [オフ] に設定した場合、【メニュー】 ボタンを押してライブ画面に戻るまで表示されたままになります。 ※セキュリティ上、10 秒～30 秒に設定されることをおすすめします。

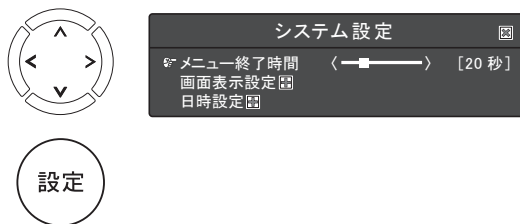
*時間は、おおよその時間です。

例 メニュー終了時間を [20 秒] に変更する

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【AV】 ボタンで [システム設定] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。



- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
【AV】 ボタンで [メニュー終了時間] を選択し、
【<>】 ボタンまたは【設定】 ボタン (【>】 と同じ) で、設定時間を切り替えます。

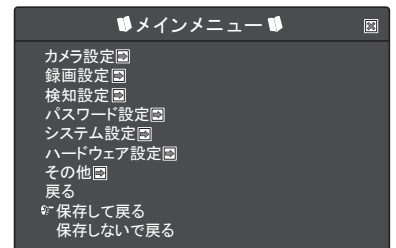


※ [60 秒] で【>】 ボタンまたは【設定】 ボタンを押すと [オフ] へ移動し、[オフ] で【<】 ボタンを押すと [60 秒] へ移動します。

- 3** 続けて他の [システム設定] 画面の項目も変更可能です。
終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



- 4** [メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



《注意》

[メニュー終了時間] の機能は、[メインメニュー]・[再生メニュー] 画面に入るためのパスワード入力画面、および録画停止のパスワード入力画面には働きません。

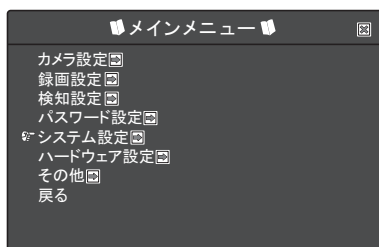
画面表示設定

設定項目		初期値	設定範囲	設定項目内容の説明	
画面表示設定	アイコン情報	オン	オン/オフ	操作画面のアイコンに文字情報を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。	
	ステータス情報	全情報	オン	オン/オフ	[ステータス情報] を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。 ※ [オフ] に設定した場合、[ステータス情報] の他の項目が [オン] になっていてもそれらの情報は表示されません。
		録画表示	オン	オン/オフ	[ステータス情報] に録画状態を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		HDD 情報	オン	オン/オフ	[ステータス情報] に HDD 情報を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		日時情報	オン	オン/オフ	[ステータス情報] に日時情報を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		画面切替表示	オン	オン/オフ	[ステータス情報] に自動画面切替中の表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
	カメラ情報	全情報	オン	オン/オフ	ライブ画面に [カメラ情報] を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。 ※ [オフ] に設定した場合、カメラ情報の他の項目が [オン] になっていてもそれらの情報は表示されません。
		カメラ番号	オン	オン/オフ	ライブ画面にカメラ番号を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		録画表示	オン	オン/オフ	ライブ画面に録画状態を表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		ビデオロス	オン	オン/オフ	ライブ画面にビデオロス (映像信号なし) マークを表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		録画モード	オン	オン/オフ	ライブ画面に録画モードを表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		検知表示	オン	オン/オフ	ライブ画面に動体検知状態を点滅表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。
		警報ブザー	オン	オン/オフ	警報音が鳴っている時、ライブ画面に警報ブザーマークを表示する [オン] / しない [オフ] を設定できます。

例 画面表示情報を変更する

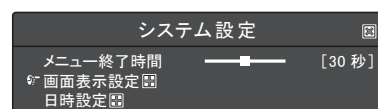
1

[メインメニュー] 画面を表示します。
 ➔ 「メインメニュー画面を表示する」 P.19
 【△】 ボタンで [システム設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



2

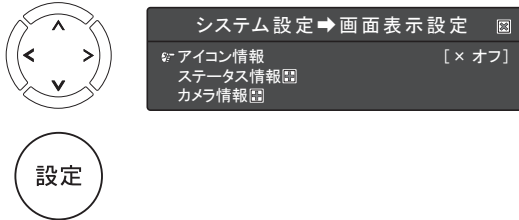
[システム設定] 画面が表示されます。
 【△】 ボタンで [画面表示設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



[画面表示設定] 画面が表示されます。

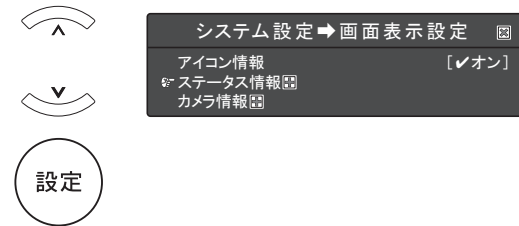
3.1 [アイコン情報]の表示を変更したい場合

[△▽] ボタンで[アイコン情報] を選択し、[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>] と同じ) で、[オン] / [オフ] を切り替えます。

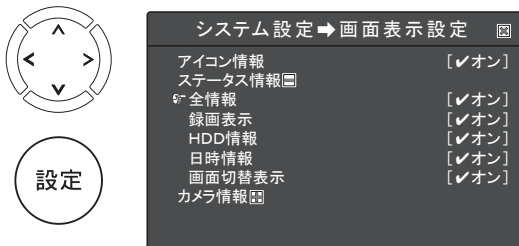


3.2 [ステータス情報]の表示を変更したい場合

[△▽] ボタンで[ステータス情報] を選択し、[設定] ボタンを押します。



[ステータス情報] 設定項目が表示されます。
[△▽] ボタンで変更したい設定項目を選択し、
[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>] と同じ) で、[オン] / [オフ] を切り替えます。

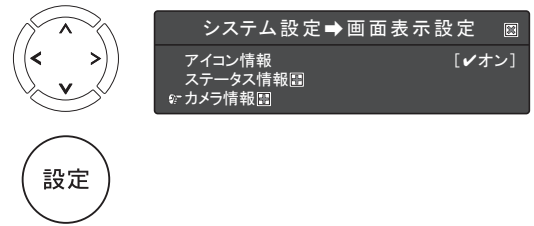


《注意》

[ステータス情報] の [全情報] を [オフ] に設定した場合、[ステータス情報] の他の項目が [オン] になっていてもそれらの情報は表示されません。

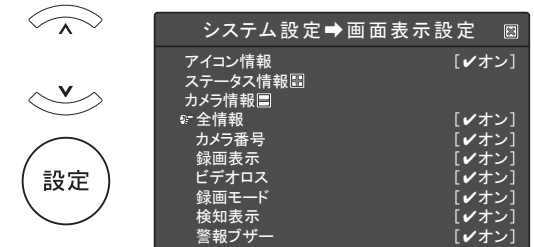
3.3 [カメラ情報]の表示を変更したい場合

[△▽] ボタンで[カメラ情報] を選択し、
[設定] ボタンを押します。



[カメラ情報] 設定項目が表示されます。

[△▽] ボタンで変更したい設定項目を選択し、
[<>] ボタンまたは[設定] ボタン([>] と同じ) で、[オン] / [オフ] を切り替えます。



《注意》

[カメラ情報] の [全情報] を [オフ] に設定した場合、[カメラ情報] の他の項目が [オン] になっていてもそれらの情報は表示されません。

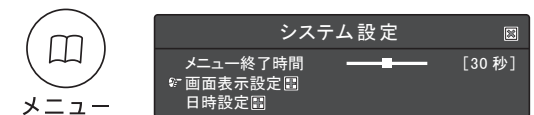
4

終了する場合は、[メニュー] ボタンを押します。



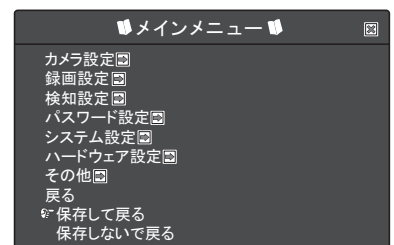
5

[システム設定] 画面に戻ります。
続けて他の [システム設定] 画面の項目も変更可能です。
終了する場合は、[メニュー] ボタンを押します。



6

[メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



MEMO

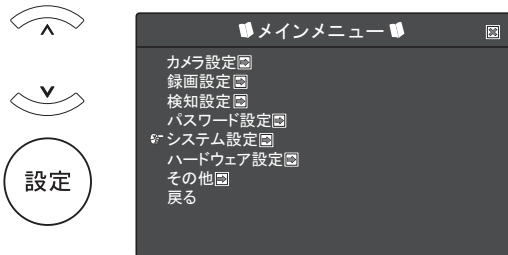
日時設定 正確な記録を残すために、定期的(1ヶ月に1回程度)な現在時刻の確認・設定をおすすめします。

設定項目		初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
日時設定	日時表示	[年/月/日]	[年/月/日] / [日/月/年] / [月/日/年]	日時の表示方法を選択して設定できます。
	日時設定	—		年月日、日時を設定できます。

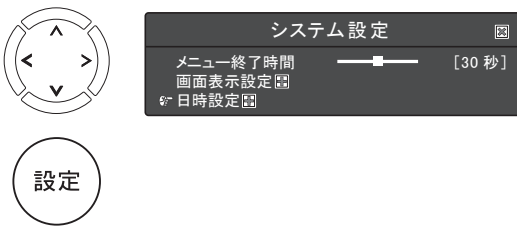
3

各項目の設定 システム設定 ■ 日時設定

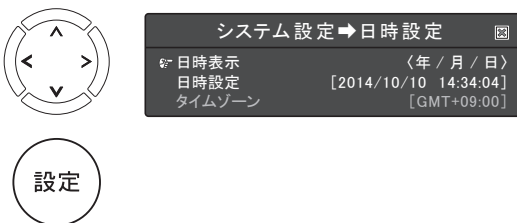
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△】ボタンで[システム設定]を選択し、
 【設定】ボタンを押します。



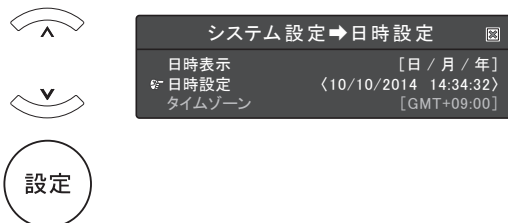
- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
 【△】ボタンで[日時設定]を選択し、【設定】
 ボタンを押します。



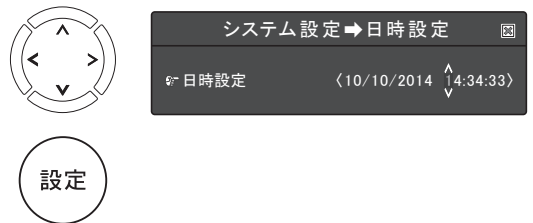
- 3** [日時設定] 画面が表示されます。
 【△】ボタンで[日時表示]を選択し、【<>】
 ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、
 [年/月/日]/[日/月/年]/[月/日/年]
 を切り替えます。



- 4** 【△】ボタンで[日時設定]を選択し、【設定】
 ボタンを押します。

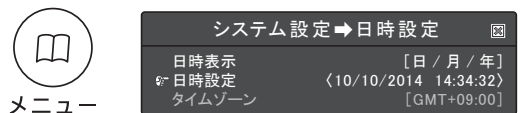


- 5** 日時設定の数値を選択中になります。
 【<>】ボタンで変更する数値を選択し、【△/▽】
 ボタンまたは【設定】ボタン(【▽】と同じ)で、
 日時を合わせていきます。



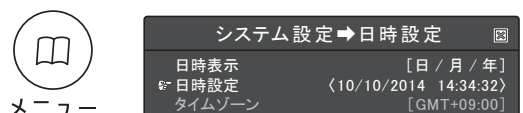
《注意》
 数字は、存在しない日時には切替わりませ
 せん。連動により、操作中でない数字が変更
 になる数字の組み合わせがありますが、故
 障ではありません。

日時を合わせたら、【メニュー】ボタンを押す
 と、選択が解除されます。



《注意》
 時間は、1秒手前からカウントを開始しま
 すが、この時点では、まだシステム上には
 日時が反映されていません。
 以後、⑥～⑧まで操作を行い、[メインメ
 ニュー]画面の[保存して戻る]を選択し
 て【設定】ボタンを押し、日時をシステ
 ム上に反映させます。

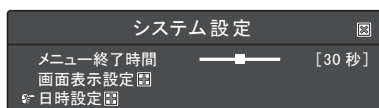
- 6** 続けて他の[日時設定]画面の項目も変更
 可能です。
 終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



- 7 [システム設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [システム設定] 画面の項目も
 変更可能です。
 終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



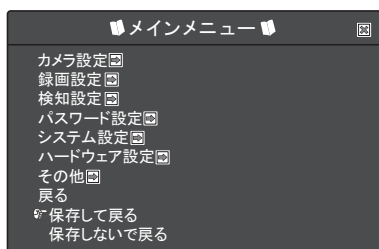
メニュー



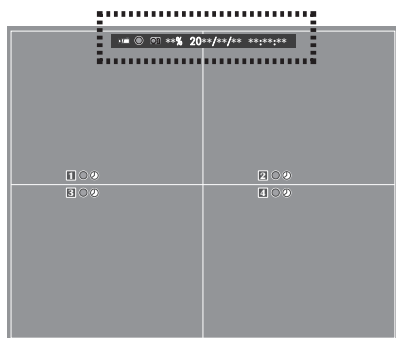
- 8 [メインメニュー] 画面に戻ります。
 【∧∨】 ボタンで [保存して戻る] を選択して
 【設定】 ボタンを押します。
 P. 19 を参考に設定変更を反映させます。



設定



- 9 ライブ画面に戻ります。
 日時がシステム上に反映されます。



■ハードウェア設定

HDD設定 - 上書き

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
上書き	はい	はい/いいえ	ハードディスク使用率が100%になった際に、古いデータから上書きして録画し続ける[はい] / 上書きせずに録画を停止する[いいえ]を設定できます。 ※映像はこまめに確認していただき、設定は[はい]のままをおすすめします。

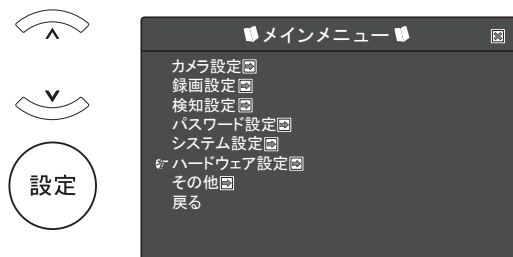
《注意》

ハードディスク使用率が100%で録画が停止している状態から、再び[上書き]を[はい]に設定変更した場合は、[録画自動切替時間]設定→P.31)が[オフ]でなければ設定内容に従い録画を開始します。[オフ]に設定されている場合は、【録画】ボタンを押すと録画を開始します。

例 保存されたデータを上書きしないように変更する

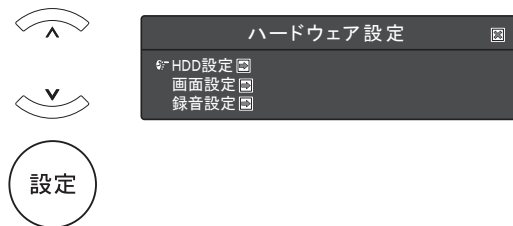
1

[メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【△▽】ボタンで[ハードウェア設定]を選択し、
【設定】ボタンを押します。



2

[ハードウェア設定] 画面が表示されます。
【△▽】ボタンで[HDD設定]を選択し、
【設定】ボタンを押します。



3

[HDD設定] 画面が表示されます。
【△▽】ボタンで[上書き]を選択し、【<>】
ボタンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、
[はい(上書きする)] / [いいえ(上書きしない)]
を切り替えます。



4

【メニュー】ボタンを押すと、[ハードウェア
設定] 画面に戻ります。
続けて他の[ハードウェア設定] 画面の項目
も変更可能です。

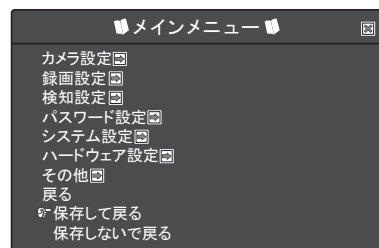
終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



メニュー

5

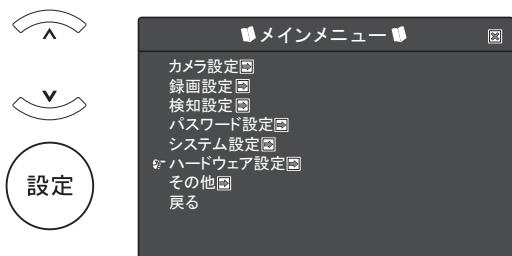
[メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19を参考に設定変更を反映させます。



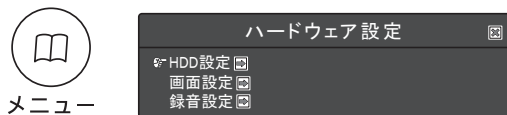
HDD設定 - ハードディスク情報

設定項目	設定範囲	設定項目内容の説明
HDD モデル	※設定項目ではありません。	ハードディスクの型番です。
HDD サイズ	※設定項目ではありません。	ハードディスクの使用できる総容量です。
録画開始時間	※設定項目ではありません。	最古の録画データの録画を開始した時間です。 ※[上書き] 録画中は、時間が変動します。
録画終了時間	※設定項目ではありません。	最新のデータの最後の録画時間です。 ※録画中は、現在時刻です。
標準録画サイズ	※設定項目ではありません。	ハードディスクの録画できる容量に対する録画した使用量です。
標準イベント数	※設定項目ではありません。	イベント(録画開始などの操作)記録可能な総数に対する保存されているイベントの数です。 ※[再生メニュー] に表示されるリストの数とは異なります。

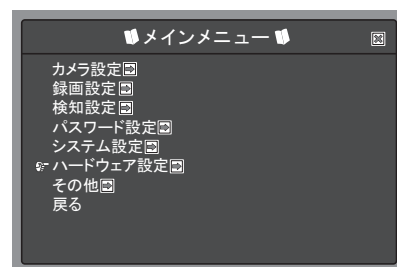
1 [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△▽】 ボタンで [ハードウェア設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



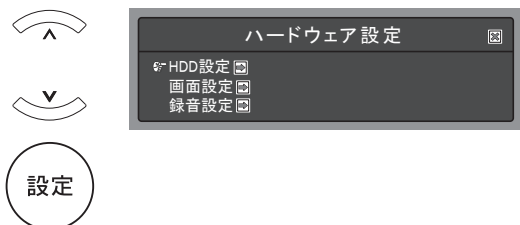
4 [ハードウェア設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [ハードウェア設定] 画面の項目
 が変更可能です。
 終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



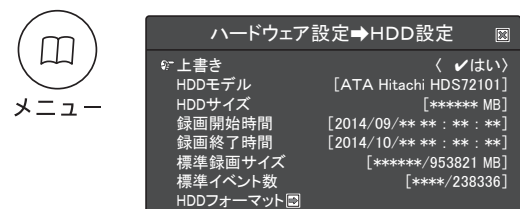
5 [メインメニュー] 画面に戻ります。



2 [ハードウェア設定] 画面が表示されます。
 【△▽】 ボタンで [HDD設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



3 [HDD設定] 画面が表示されます。
 情報を確認したら、【メニュー】 ボタンを押します。



HDD設定 - HDDフォーマット

《注意》保存された録画データは、すべて消去されます。

3

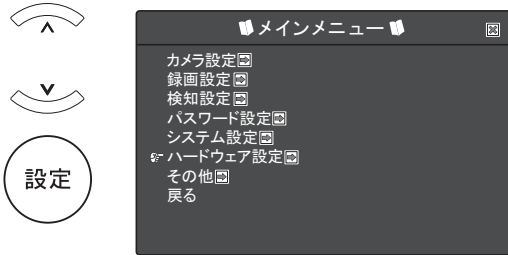
各項目の設定
ハードウェア設定 ■ HDD設定 ■ HDDフォーマット

1 録画を停止させ、[メインメニュー] 画面を表示します。

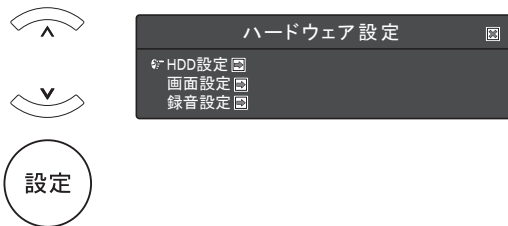
→「録画を停止する」P.22

→「メインメニュー画面を表示する」P.19

【△V】ボタンで[ハードウェア設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。



2 [ハードウェア設定] 画面が表示されます。【△V】ボタンで[HDD設定]を選択し、【設定】ボタンを押します。



3 [HDD設定] 画面が表示されます。【△V】ボタンで[HDDフォーマット]を選択し、【設定】ボタンを押します。

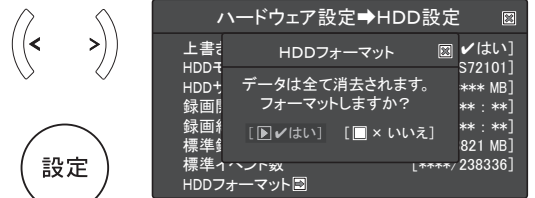


4 [システム管理 - パスワード入力] 画面が表示されます。【△V<>】ボタンで数字を選択し、【設定】ボタンで確定して、現在のパスワードを入力していきます。

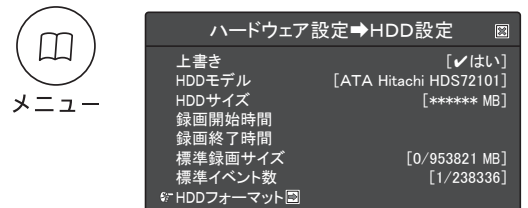
初期値⇒ [000000] ※すべてゼロ



5 [HDDフォーマット]確認画面が表示されます。【<>】ボタンで[はい]を選択し、【設定】ボタンを押すと、フォーマットを開始します。



6 フォーマット終了後、[HDD設定] 画面に戻ります。続けて他の[HDD設定]画面の項目も変更可能です。終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



《注意》

標準イベント数には、DVRの修理時に必要なチェック項目を含んでいるため、[再生メニュー]のリスト表示の個数とは一致しません。

7 [ハードウェア設定] 画面に戻ります。続けて他の[ハードウェア設定]画面の項目も変更可能です。終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



8 [メインメニュー] 画面に戻ります。

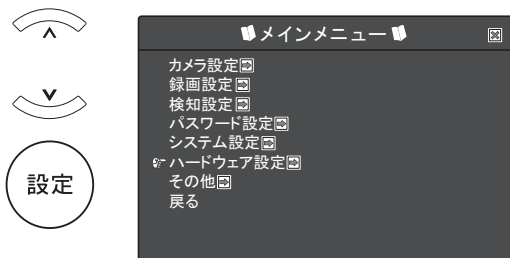
《注意》

[録画自動切替時間]の設定が[オフ]の場合は、HDDフォーマット終了後・メニュー画面を閉じても自動で録画を開始しません。録画をする場合は【録画】ボタンを押してください。

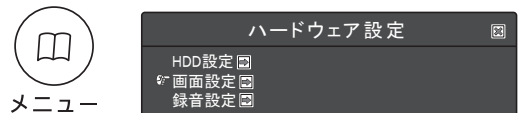
画面設定 - 境界線

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
境界線	オン	オン/オフ	ライブ画面の映像に境界線を表示する [オン] / 表示しない [オフ]

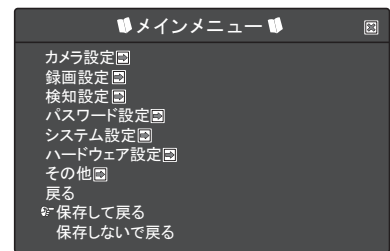
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△】 ボタンで [ハードウェア設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



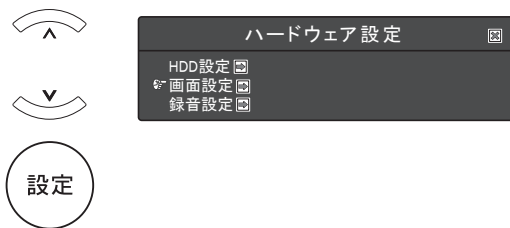
- 4** [ハードウェア設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [ハードウェア設定] 画面の項目も変更可能です。
 終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



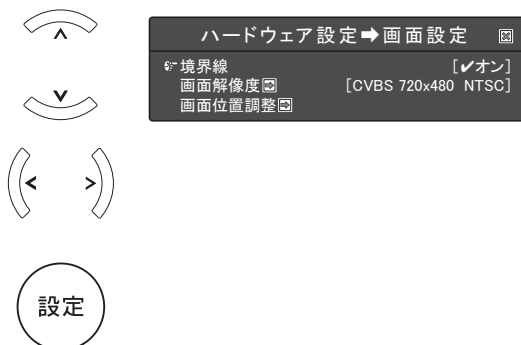
- 5** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 P.19 を参考に設定変更を反映させます。



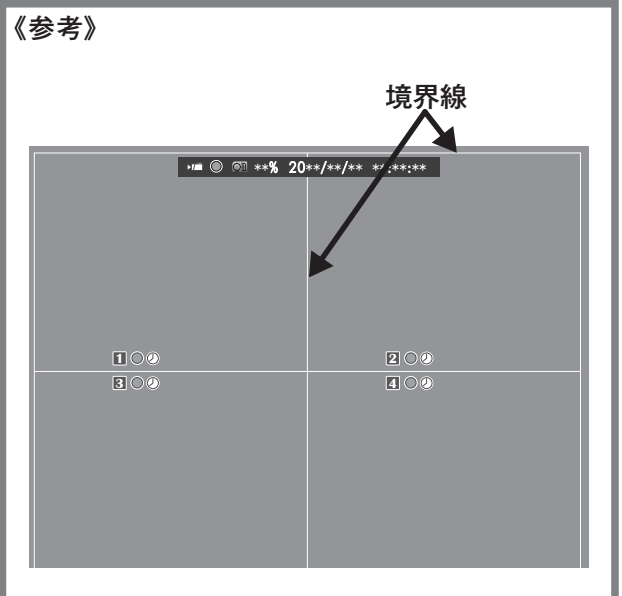
- 2** [ハードウェア設定] 画面が表示されます。
 【△】 ボタンで [画面設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



- 3** [画面設定] 画面が表示されます。
 【△】 ボタンで [境界線] を選択し、【<>】
 ボタンまたは【設定】 ボタン(【>】と同じ)で、
 [オン] / [オフ] を切り替えます。



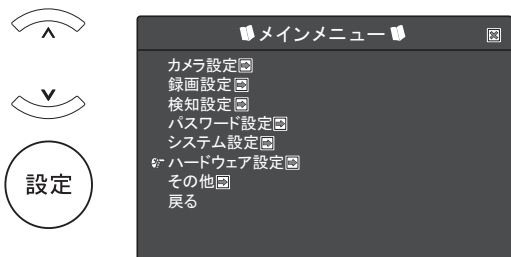
終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



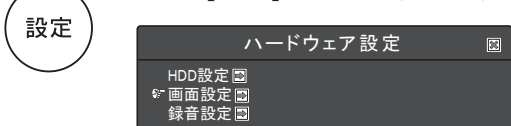
画面設定 - 画面解像度

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
画面解像度	CVBS	CVBS 720x480 NTSC / VGA 800x600 60 Hz / VGA 800x600 75 Hz / VGA 1024x768 60 Hz / VGA 1024x768 75 Hz / VGA 1280x1024 60 Hz / VGA 1366x768 60 Hz / VGA 1440x900 60 Hz	モニターに合わせて設定します。 ※VGA出力端子でモニター接続する場合は、一度ビデオケーブルでモニター出力端子とモニターを接続して設定を変更してください。

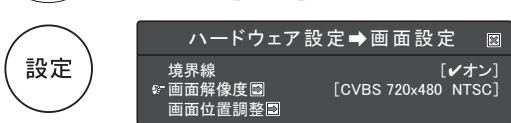
1 [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△V】 ボタンで [ハードウェア設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



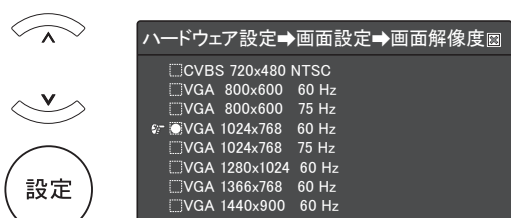
2 [ハードウェア設定] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンで [画面設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



3 [画面設定] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンで [画面解像度] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



4 [画面解像度] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンでモニターにあった画面解像度を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。
 ※モニター出力端子 (VIDEO-OUT) からの出力画面では、VGA 設定の画面も出力されますが、正しい解像度の画面ではありません。
 ※VGA の画面解像度に変更する場合は、VGA 出力端子から PC モニターに接続した画面でご確認ください (VGA ケーブルは別途お買い求めください)。



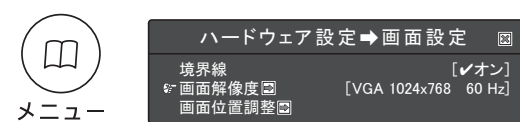
《注意》
 VGA 出力画面を見るためには、モニター側の切り替えも必要です。詳しくは、モニターの取扱説明書をご確認ください。

5 変更確認画面が表示されます。
 ライブ画面を確認し、
 【<>】 ボタンで [はい] へ移動して
 【設定】 ボタンを押します。

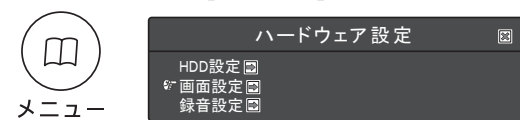


《注意》
 [はい] で 【設定】 ボタンを押した場合、変更確認画面を閉じた時点で設定変更が仮確定します。
 ※ [いいえ] で 【設定】 ボタンを押した場合、または、20 秒間無操作だった場合には、[画面解像度] 画面に戻ります。

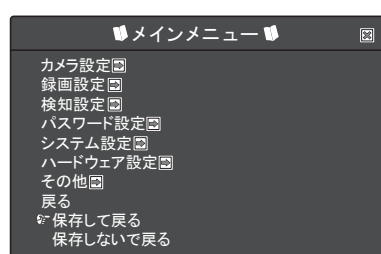
6 [画面設定] 画面に戻ります。続けて他の [画面設定] 画面の項目も変更可能です。
 終了する場合は、
 【メニュー】 ボタンを押します。



7 [ハードウェア設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [ハードウェア設定] 画面の項目も変更可能です。
 終了する場合は、
 【メニュー】 ボタンを押します。



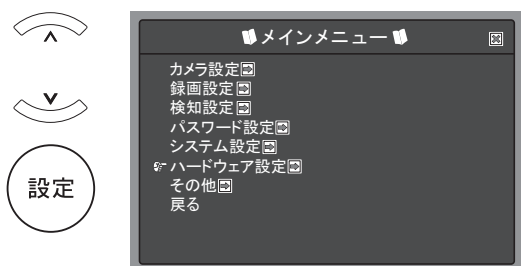
8 [メインメニュー] 画面に戻ります。
 P.19 を参考に設定変更を反映させます。



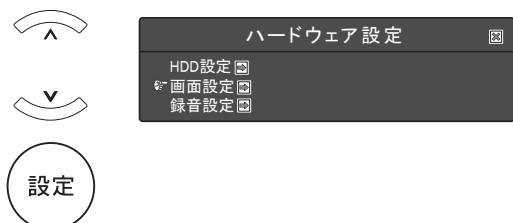
画面設定 - 画面位置調整

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
画面位置調整	—	—	モニター上の映像の位置を調整できます。 ※ CVBS (コンポジット映像信号) 専用の項目です。 VGA 出力画面では使用できません。

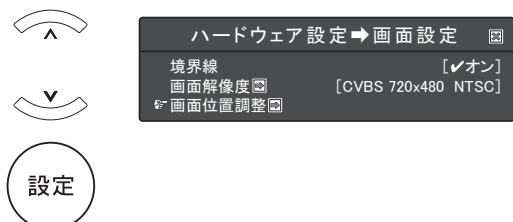
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 ➔「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△▽】 ボタンで [ハードウェア設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



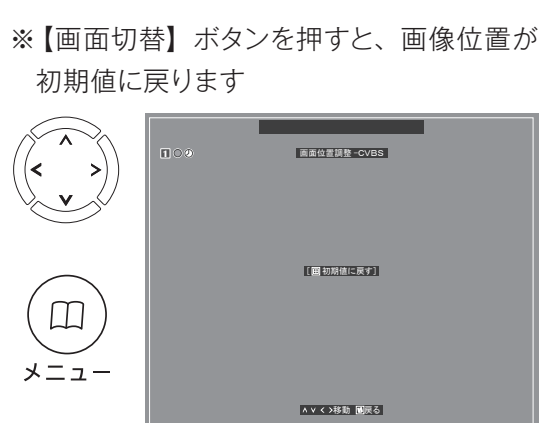
- 2** [ハードウェア設定] 画面が表示されます。
 【△▽】 ボタンで [画面設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



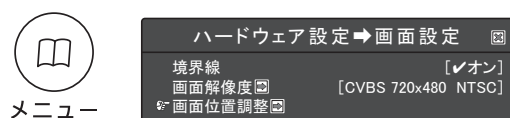
- 3** [画面設定] 画面が表示されます。
 【△▽】 ボタンで [画面位置設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



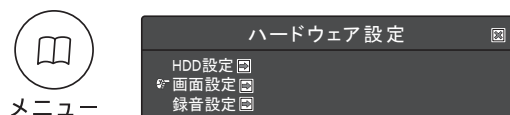
- 4** [画面位置調整] 画面が表示されます。
 ライブ映像を見ながら、【△▽<>】 ボタンで
 画面の位置を調整します。
 終了したら【メニュー】 ボタンを押します。



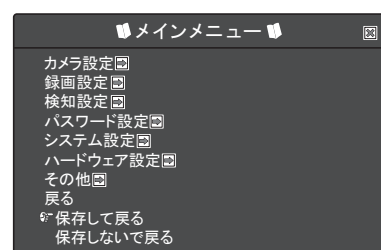
- 5** [画面設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [画面設定] 画面の項目も変更
 可能です。
 終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



- 6** [ハードウェア設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [ハードウェア設定] 画面の項目
 も変更可能です。
 終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



- 7** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 P.19 を参考に設定変更を反映させます。



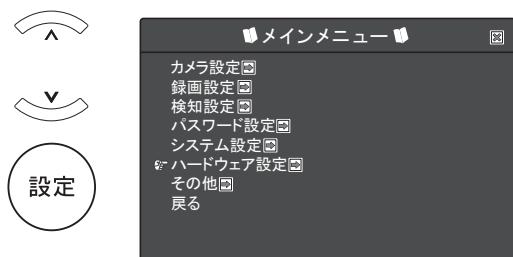
3

各項目の設定 ■ ハードウェア設定 ■ 画面設定 ■ 画面位置調整

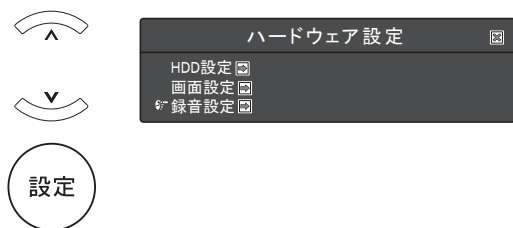
録音設定

設定項目	初期値	設定範囲	設定項目内容の説明
録音	オン	オン/オフ	音声を記録する[オン] / 記録しない[オフ] を設定できます。 ※録画されないと、録音されません。
消音	オフ	オン/オフ	音声出力端子へ音声を出力する[オフ] / しない[オン] を設定できます。
入力音量レベル	9	1~16 (小~大)	音声入力端子からの音量レベルを調整できます
出力音量レベル	9	1~16 (小~大)	音声出力端子への音量レベルを調整できます。

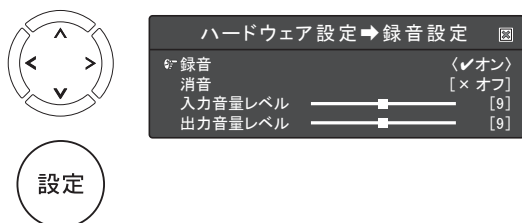
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△▽】ボタンで[ハードウェア設定]を選択し、
 【設定】ボタンを押します。



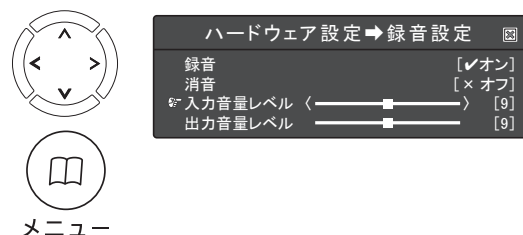
- 2** [ハードウェア設定] 画面が表示されます。
 【△▽】ボタンで[録音設定]を選択し、
 【設定】ボタンを押します。



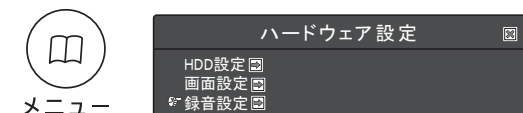
- 3** [録音設定] 画面が表示されます。
 [録音]、[消音] 設定は、【△▽】ボタンで選
 択を移動し、【<>】ボタンまたは【設定】ボ
 タン(【>】と同じ)で、[オン] / [オフ] を
 切り替えます。



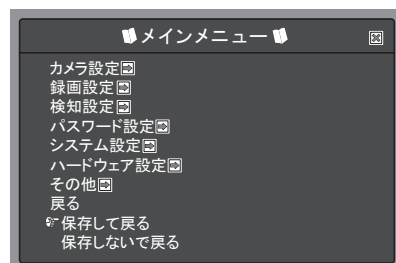
- 4** [入力音量レベル]、[出力音量レベル] 設定は、
 【△▽】ボタンで選択を移動し、【<>】ボタ
 ンまたは【設定】ボタン(【>】と同じ)で、数
 値を切り替えます。
 終了したら【メニュー】ボタンを押します。



- 5** [ハードウェア設定] 画面に戻ります。
 続けて他の [ハードウェア設定] 画面の項目
 も変更可能です。
 終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



- 6** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 P.19 を参考に設定変更を反映させます。



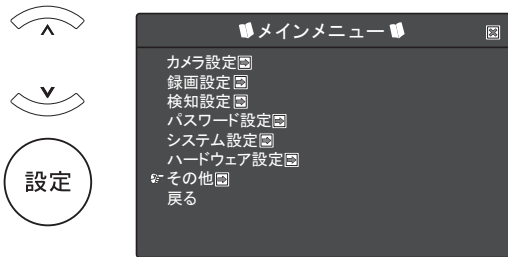
■その他

USB メモリーフォーマット

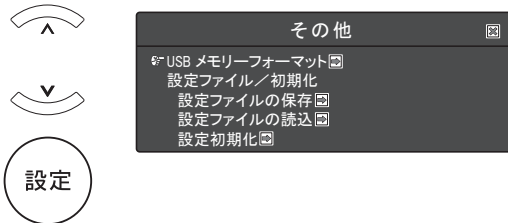
《注意》 USB メモリー内のデータおよびボリュームラベルは、すべて削除されます。

データのバックアップ、設定ファイルの保存をするための USB メモリーをフォーマットします。
※ 1 ~ 64GB に対応していますが、すべての USB メモリーの動作保証をするものではありません。

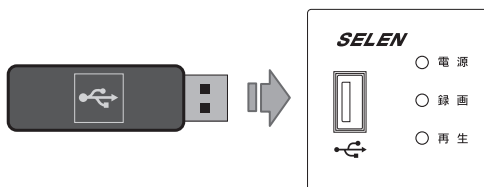
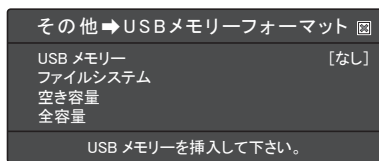
- 1 [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【△▽】 ボタンで [その他] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



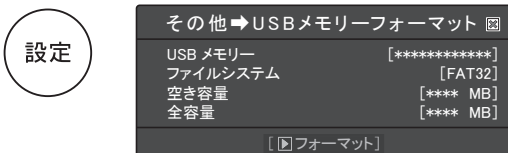
- 2 [その他] 画面が表示されます。
【△▽】 ボタンで [USB メモリーフォーマット] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



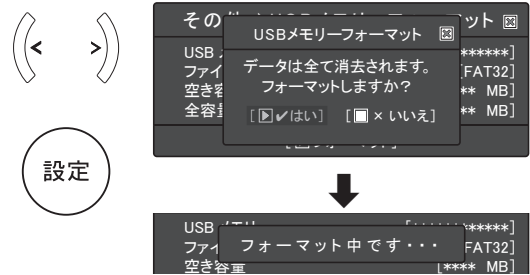
- 3 [USB メモリーフォーマット] 画面に [USB メモリーを挿入して下さい。] が表示されます。
本体前面に USB メモリーを挿入します。



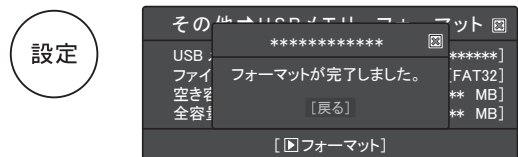
- 4 [フォーマット] を選択の状態になったら、【設定】 ボタンを押します。



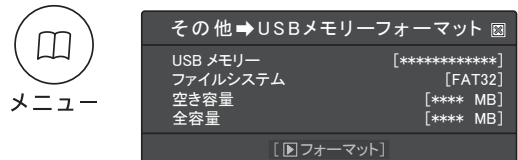
- 5 [USB メモリーフォーマット] 確認画面が表示されます。【<>】 ボタンで [はい] を選択し、【設定】 ボタンを押すと、フォーマットを開始します。



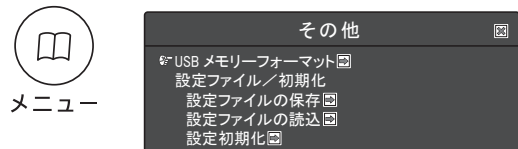
- 6 フォーマットが終わると [フォーマットが完了しました。] 画面が表示されます。
【設定】 ボタンを押します。



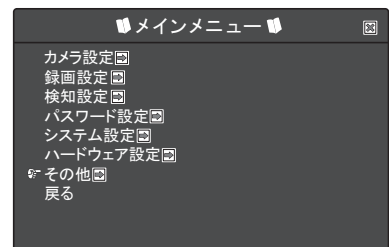
- 7 [USB メモリーフォーマット] 画面に戻ります。
【メニュー】 ボタンを押します。



- 8 [その他] 画面に戻ります。続けて他の [その他] 画面の項目も変更可能です。
終了する場合は、【設定】 ボタンを押します。



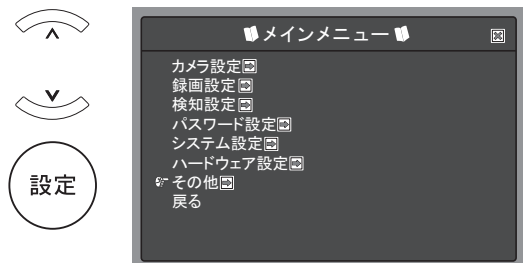
- 9 [メインメニュー] 画面に戻ります。
P.19 を参考に設定変更を反映させます。



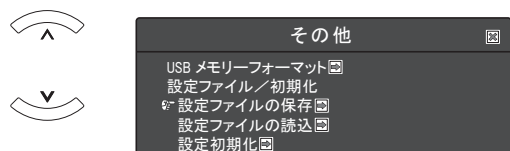
設定ファイルの保存

現在の設定内容をファイルとして保存します。

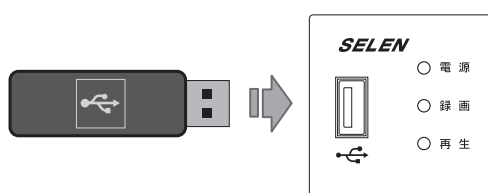
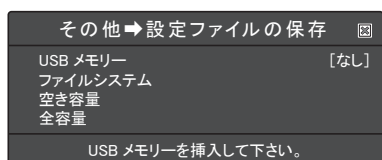
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【AV】ボタンで[その他]を選択し、【設定】ボタンを押します。



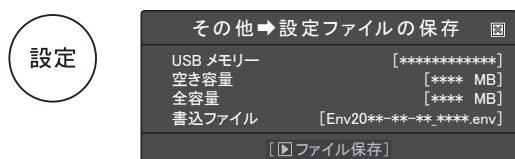
- 2** [その他] 画面が表示されます。
【AV】ボタンで[設定ファイルの保存]を選択し、【設定】ボタンを押します。



- 3** [設定ファイルの保存] 画面に [USB メモリーを挿入して下さい。] が表示されます。
本体前面に USB メモリーを挿入します。

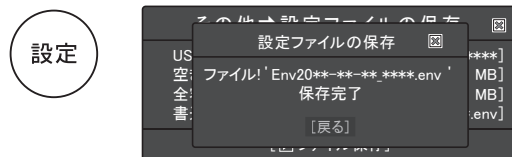


- 4** [ファイル保存] を選択の状態になったら、【設定】ボタンを押します。



※保存できない場合は、P.57 を参考に「USB メモリーフォーマット」を試してください。
※ USB メモリーのデータはすべて消えますので、ご注意ください。

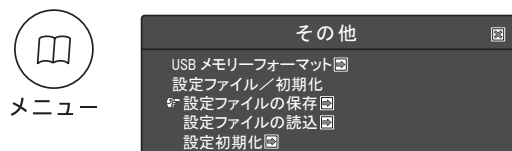
- 5** 保存が終わると [保存完了] 画面が表示されます。
【設定】ボタンを押します。



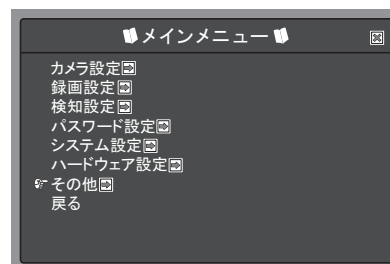
- 6** [設定ファイルの保存] 画面に戻ります。
【メニュー】ボタンを押します。



- 7** [その他] 画面に戻ります。
続けて他の [その他] 画面の項目も変更可能です。
終了する場合は、【設定】ボタンを押します。



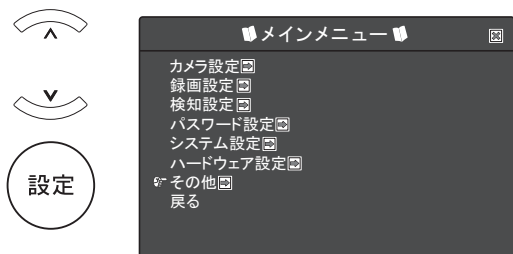
- 8** [メインメニュー] 画面に戻ります。



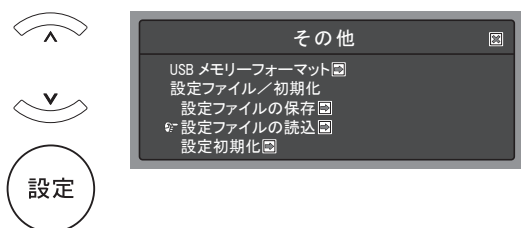
設定ファイルの読込

本機の設定内容を USB メモリー内に保存した設定ファイルの内容で設定します。

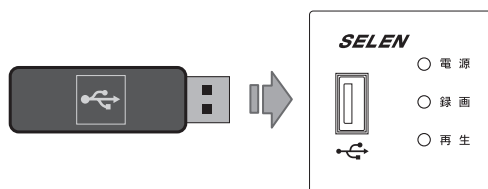
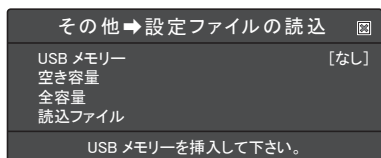
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.19
 【△V】 ボタンで[その他] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



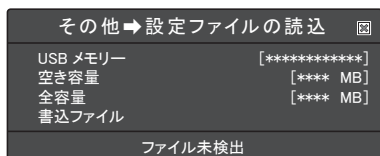
- 2** [その他] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンで[設定ファイルの読込] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



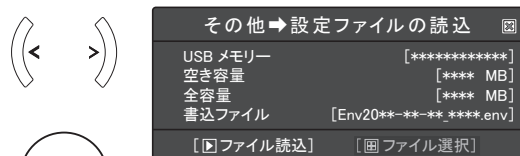
- 3** [設定ファイルの読込] 画面に[USB メモリーを挿入して下さい。]が表示されます。
 本体前面に設定ファイルを保存した USB メモリーを挿入します。



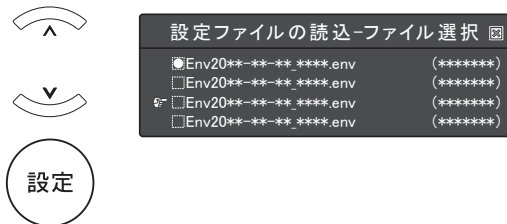
《ファイルが認識されなかった場合》
 USB メモリーに保存ファイルがない、または、破損等で認識できない場合は、[ファイル未検出] と表示されます。設定ファイルが保存された別の USB メモリーを用意して、設定をやり直してください。



- ★ USB メモリーに複数の設定ファイルがある場合は、[ファイル選択] 項目でファイルを選択できます。[書込ファイル] 名で確認します。
 [書込ファイル] を変更する場合は、【<>】 ボタンで[ファイル選択] へ移動し、【設定】 ボタンを押します。

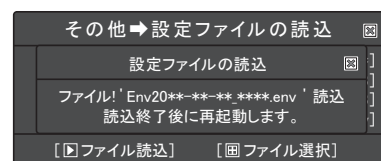
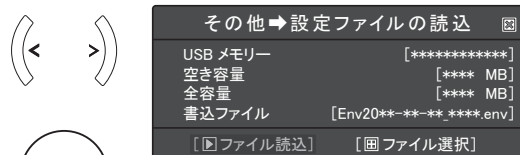


- [ファイル選択] 画面が表示されます。
 【△V】 ボタンで設定するファイルを選択し、【設定】 ボタンを押すと[設定ファイルの読込] 画面に戻ります。



- ※ファイル名は、「Env(年月日)_(時間).env」になっています。
 ※ファイルが1つの場合は、[ファイル選択] は表示されません。
 ※選択中のファイルには、点線四角内に[●]印がついています。

- 4** [書込ファイル] 名が表示されます。
 【<>】 ボタンで[ファイル読込] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



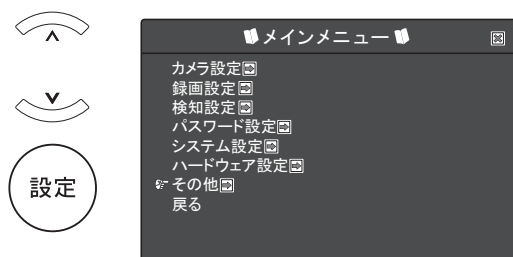
- 5** 読込の終了後は自動的に再起動し、ライブ画面に戻ります。

設定初期化

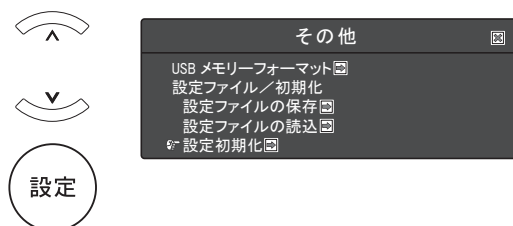
本機の設定内容を工場出荷状態（初期値）に設定します。

※日時は変更されません。また、ハードディスクは初期化されません。

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.19
【△▽】ボタンで[その他]を選択し、【設定】ボタンを押します。



- 2** [その他] 画面が表示されます。
【△▽】ボタンで[設定初期化]を選択し、【設定】ボタンを押します。



- 3** [設定初期化] 確認画面が表示されます。
【<>】ボタンで[はい]を選択し、【設定】ボタンを押します。



- 4** 初期化終了後は自動的に再起動し、ライブ画面に戻ります。
※初期化終了後、ライブ画面に戻ります。
約 30 秒で自動的に録画を開始しますが、【録画】ボタンを押して録画を開始することもできます。

再生する

4

再生方法は、「日時」を指定して再生する方法と、「リスト」から録画データを選んで再生する方法の2通りがあります。

再生を開始すると、再生を始めた録画データから保存されている最新の録画データまで連続して再生します。

再生メニュー画面について

再生メニュー画面の表示方法

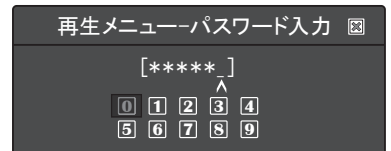
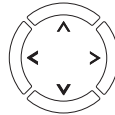
1



ライブ画面で【再生】ボタンを押します。

2

[再生メニュー-パスワード入力]画面が表示されます。
【△▽<>】ボタンで数字を選択し、【設定】ボタンで確定して、現在のパスワードを入力していきます。



初期値⇒ [000000] ※すべてゼロ

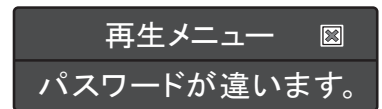
※入力し直す場合は、【メニュー】ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。



《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います]と表示されます。
少しすると自動的にライブ画面に戻ります。

最初からやり直し、再度、正しいパスワードの入力を行ってください。
※表示中に【メニュー】ボタンを押しても、ライブ画面に戻ります。



3

[再生メニュー]画面が表示されます。

※ [年月日]の表示を例に説明しています。

※再生メニューのリスト表示番号には、表示されない番号があります。

これは、DVRの修理時に必要なチェックを実施しているためで、故障ではありません。

再生メニュー

カメラの選択 [田] 1 2 3 4

開始時間 [20**/**/** **:**]**

終了時間 [20**/**/** **:**]**

0106	▶	2014/10/11	16:00:00	1 2 3 4
0105	▶	2014/10/10	22:00:00	1 2
0104	▶	2014/10/10	16:00:00	1 2 3 4
✓ 0103	▶	2014/10/10	15:11:31	1
0102	▶	2014/10/10	12:05:06	2

[田 表示変更] [▶ 再生] [○ バックアップ]

マウス専用

《注意》

ハードディスクが上書き状態では、[録画開始時間]に近い時間を再生時の[開始時間]として設定・再生すると、ハードディスクの上書きと再生の処理が重なり、再生画面が乱れる時があります。

その場合は、録画を停止するか、再生開始時間を変更してください。

再生メニュー画面の切替

[再生メニュー] 画面は、日時指定欄表示の画面と、リスト欄表示のみの画面に切り替えることができます。
また、[再生メニュー] 画面を切り替えると、最新の録画データを含むリストを表示します。
※操作終了後、次に [再生メニュー] を表示させた時は、前回に開かれていた画面を最初に表示します。

日時指定欄表示の [再生メニュー] 画面



画面切替

リスト欄表示のみの [再生メニュー] 画面



最新の録画データを含むリストになります。

マーク表示

	マーク	表示名	表示の意味	
日時指定欄		全カメラの選択	すべての録画データをリスト表示します。	
		各カメラの選択	リスト欄に表示するカメラを選択します (複数選択可)。 選択したカメラのリストが表示されます。 選択中 (緑色) ↔ 選択していない (白色)	
	[年/月/日・時間] *	開始時間	「日時指定」で再生を開始する時間です。	リスト欄の録画データ 選択時は、その開始 時間と終了時間の表 示になります。
	[年/月/日・時間] *	終了時間	録画データの終わりの時間です。 ※録画中の場合は、現在時刻です。	
リスト欄	✓	再生履歴	再生を開始した録画データに表示されるマークです。 ※消すことはできません。	
	[年/月/日・時間] *	録画開始日時	録画データリストの録画を開始した日時です。	
	🕒	通常録画	「通常録画」で録画された録画データです。	
	👤	動体検知録画	「動体検知」で録画された録画データです。	
		カメラ番号	録画データのあるカメラです。	
	^	最新の録画データ	リスト内の最新の録画データを意味する表示です。	
v	最古の録画データ	リスト内の最古の録画データを意味する表示です。		

* [日時表示] に準じます。

※ [上書き] 設定中で、上書き録画を行っている場合は、録画開始時間も変わります。

上書き中の録画データを再生する場合、処理時間の関係でリストに表示されていても再生できない場合があります。

日時指定再生する

- 1** [再生メニュー] 画面を表示します。
 ※日時指定欄表示の[再生メニュー]画面を例に説明しています。
 →「再生メニュー画面の切替」P.63 参考



《注意》

ハードディスクに記録されていない時間を指定したときは、元の[再生メニュー]画面に戻ります。
 再度、時間を指定し直してください。

- 5** [再生メニュー]画面に[開始時間]が指定されます。
 【再生】ボタンを押します。



- 2** 【△V】ボタンで[開始時間]を選択し、
 【設定】ボタンを押します。



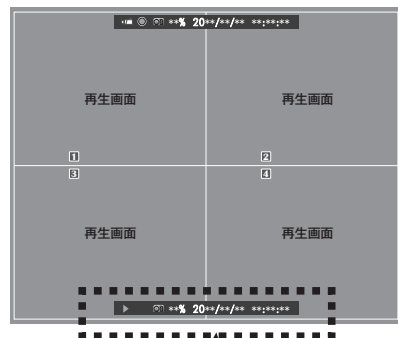
- 3** [開始時間]設定状態の表示になります。
 【<>】ボタンで再生を開始したい日時の数値に選択を合わせて、【△V】ボタンまたは【設定】ボタン（【V】と同じ）で数字を切り替えていきます。



《注意》

数字は、存在しない日時には切替わりません。連動により、操作中でない数字が変更になる数字の組み合わせがありますが、故障ではありません。

- 6** 再生を開始します。
 再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。
 →「再生中の操作について」は、P.66をご覧ください。



再生中情報表示
 → P.67 参照

- 4** [開始時間]を合わせ終わったら、【メニュー】ボタンを押します。



《注意》

指定した時間に録画データがない場合は、指定した時間以降の一番近い録画データを再生します。
 [開始時間]には、前回、日時指定再生を行った時の設定時間が表示されます。

リスト再生する

1 [再生メニュー] 画面を表示します。
※日時指定欄表示の [再生メニュー] 画面を例に説明しています。

➔「再生メニュー画面の切替」 P.63 参考



2 【△V】 ボタンで [カメラの選択] へ移動し、【<>】 ボタンでリスト表示を切り替えるカメラに移動し、【設定】 ボタンで切り替えます。

選択中(緑色) ↔ 選択していない(白色)

田 ⇒ すべてのカメラ選択を切り替え

1 2 3 4 ⇒ それぞれのカメラ選択を切り替え (複数選択可)



設定

例 カメラ3を選択した場合 (カメラ3のみ緑色)



この場合、カメラ3の録画データを含むリストのみが表示されます。

3 【△V】 ボタンでリストから再生したい録画データを選択します。

※リスト内の録画データを選択した時、[カメラの選択] 欄は、録画されているカメラを点滅表示します。また、[開始時間] [終了時間] 欄には選択した録画データの録画時間が表示されます。

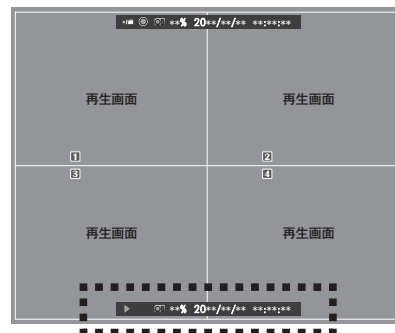


4 【再生】 ボタンを押し、再生を開始します。再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。

➔「再生中の操作について」は、次ページをご覧ください。



再生

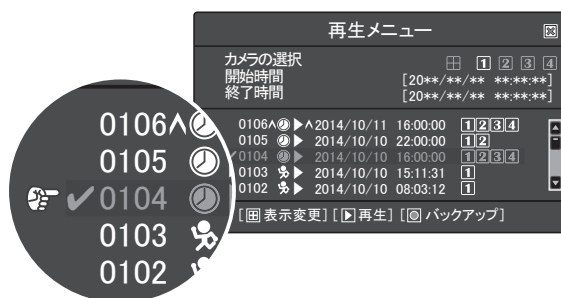


再生中情報表示

➔ P.67 参照

《参考》

再生を開始したリストの録画データには、【✓】マークが表示されます。消すことはできません。



再生中の操作について

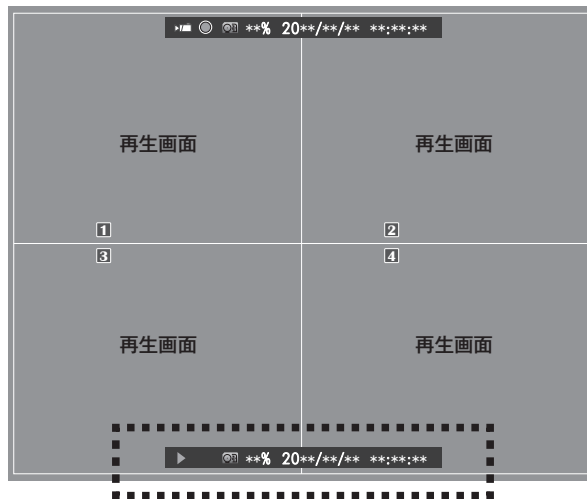
基本的なボタン操作

本体ボタン	リモコンボタン	名称	主な操作内容
 <p>1 2 3 4</p>	 <p>1 2 3 4</p>	カメラ切替	再生画面を単一画面に切り替えます。 ※再生中、その時間の録画データがないカメラの画面は黒く表示されます。
 <p>画面切替</p>	<p>MODE</p> 	画面切替	●再生画面を4分割画面に切り替えます。 ※再生中、その時間の録画データがないカメラの画面は黒く表示されます。
 <p>停止</p>		停止	●再生画面からライブ画面に戻ります。 ●[再生メニュー] 画面表示中は、[再生メニュー] 画面を閉じます。
 <p>一時停止</p>		一時停止	●再生を一時停止します。 ※一時停止中は、押すたびにコマ送りします。
 <p>再生</p>	<p>PLAY</p> 	再生	●(再生中) ⇨再生を一時停止します。 ●(早再生中 / 早戻し再生中 / 一時停止中) ⇨通常の再生にします。
 <p>メニュー</p>	<p>MENU</p> 	メニュー	●再生を一時停止して [再生メニュー] 画面を表示します。 ●[再生メニュー] 画面表示中は、[再生メニュー] 画面を閉じます。
		早再生	●早送りで再生します。(5段階) ※再生できなくなった時点で一時停止します。 [メニュー終了時間] が設定されている場合は、一時停止後、設定時間が経過するとライブ画面に戻ります。
		早戻し再生	●早送りで戻し再生します。(5段階) ※戻し再生できなくなった時点で一時停止します。 [メニュー終了時間] が設定されている場合は、一時停止後、設定時間が経過するとライブ画面に戻ります。
 <p>設定</p>		設定	●再生中は、再生操作画面を表示します。 ➡「再生操作画面」P.68 参照

再生中情報表示

マーク	表示名	意味
▶	再生中	再生中です。
	一時停止中	一時停止中です。
▶▶×1 ▶▶×2 ▶▶×3 ▶▶×4 ▶▶×5	早再生中	早送りで再生中です。(5段階)
◀◀×1 ◀◀×2 ◀◀×3 ◀◀×4 ◀◀×5	早戻し再生中	早送りで戻し再生中です。(5段階)
📁 00%	HDD モード	HDD に保存したすべてのデータを 100%として表示します。
[年/月/日・時間]*	再生日時	再生してる録画データの時間表示です。

* [日時表示] に準じます。

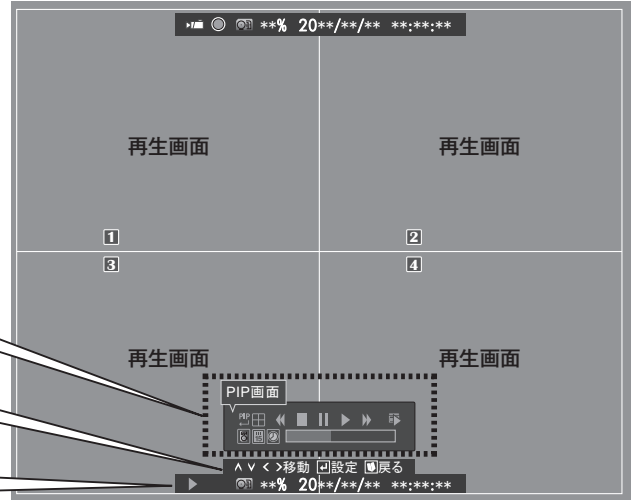


再生中の操作について

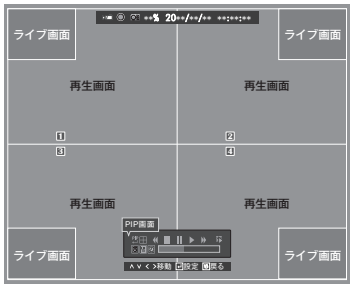
再生操作画面

再生画面で【設定】ボタンを押す。または、マウスでカーソルを下に移動すると再生操作画面が表示されます。

※マーク選択時に表示される「アイコン情報」は、各項目の設定 [システム設定 - 画面表示設定] で表示しないように変更できます。
〔設定方法→P.45「画面表示設定」〕

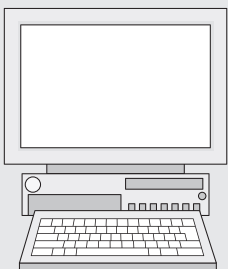


再生操作画面
操作ボタンの補助説明表示
再生中情報表示

マーク	アイコン情報	はたらき
PIP ←	PIP 画面	再生画面の中にライブ画面を表示します。 イメージ> 
	4 分割画面	再生画面を 4 分割画面に切り替えます。
	早戻し再生	早送りで戻し再生します。(5 段階)
	停止	【停止】ボタンと同じ操作です。
	一時停止	【一時停止】ボタンと同じ操作です。
	再生	(再生中) ➡再生を一時停止します。 (早再生中 / 早戻し再生中 / 一時停止中) ➡通常の再生にします。
	早再生	早送りで再生します。(5 段階)
	HDD モード	HDD に保存したすべてのデータを 100%として表示します。
	24 時間モード	バーを 24 時間モードで表示します。 ※基本のグラフは、開始時間(左端)は 00:00:00、終了時間(右端)は 23:59:59 で、再生されている時間のおおよその位置を黄色で表示します。 但し、録画の状態でグラフの開始時間、および、終了時間が変化します。
	1 時間モード	バーを 1 時間モードで表示します。 ※基本のグラフは、開始時間(左端)は各時間の **:00:00、終了時間(右端)は **:59:59 で、再生されている時間のおおよその位置を黄色で表示します。 但し、録画の状態でグラフの開始時間、および、終了時間が変化します。
	再生メニュー	[再生メニュー] 画面に戻ります。

パソコンで再生する

5



データをバックアップする

【注意】 ハードディスクが上書き状態では、バックアップメニューを表示・操作中は録画を停止します。

1 ★あらかじめ再生操作を行い、バックアップする日時をご確認ください。
 →「再生メニュー画面の表示方法」P.62
 [再生メニュー(リスト欄表示のみの画面も可)]画面で、【録画】ボタンを押します。
 ※日時指定欄表示の[再生メニュー]画面を例に説明しています。

→「再生メニュー画面の切替」P.63 参考



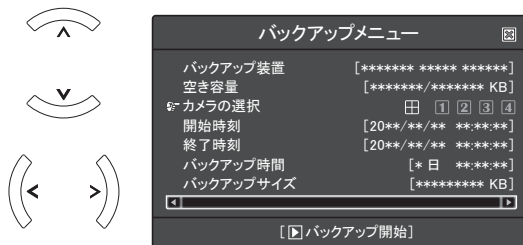
3 【△V】ボタンで[カメラの選択]へ移動し、【<>】ボタンでバックアップするカメラを【設定】ボタンで切り替えます。

バックアップする(緑色)

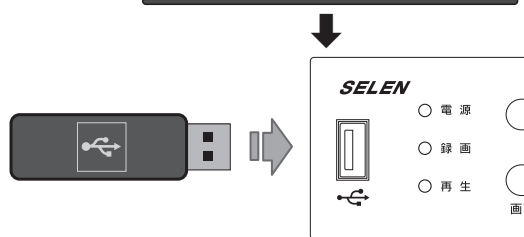
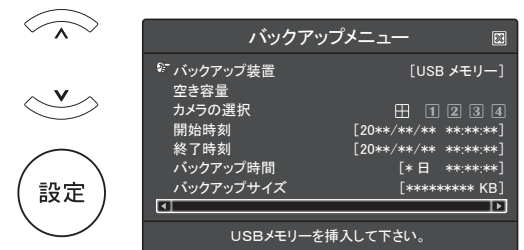


バックアップしない(白色)

[田] ⇨ すべての録画データの選択を切り替え
 [1] [2] [3] [4] ⇨ それぞれのカメラの録画データ選択を切り替え

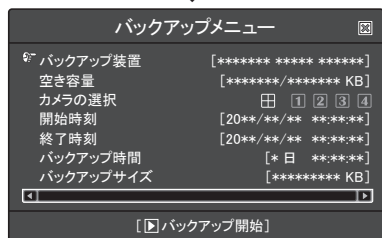


2 [バックアップメニュー/USBメモリーを挿入して下さい。]画面が表示されます。
 USBメモリーを本体前面に差し込みます。

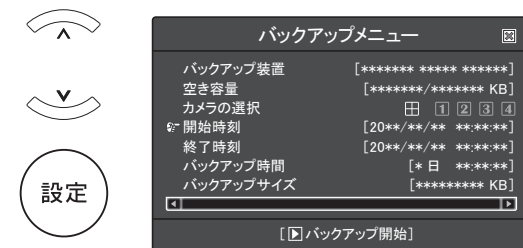


【注意】 容量が64GBを超えたUSBメモリー、セキュリティソフトの入ったUSBメモリーは、本機の動作が停止する場合がありますので、使用しないでください。

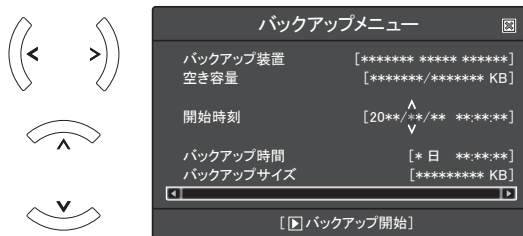
USBメモリーの[名称][空き容量]が表示されます。



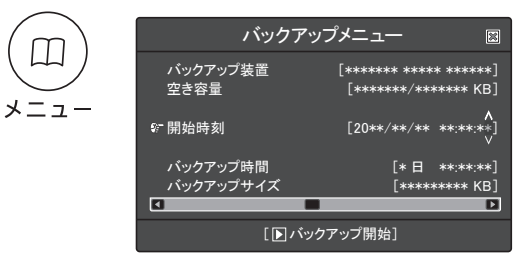
4 【△V】ボタンで[開始時刻]を選択し、【設定】ボタンを押します。



5 【開始時刻】設定状態の表示になります。
 【<>】ボタンで再生を開始したい日時の数値に選択を合わせて、【△V】ボタンまたは【設定】ボタン(【V】と同じ)で数字を切り替えていきます。

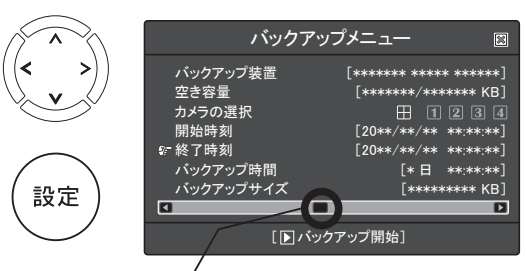


6 [開始時刻] の設定が完了したら、【メニュー】ボタンを押します。



《注意》
録画データが存在しない日時を指定すると、元の [開始時刻] のまま [バックアップメニュー] 画面に戻ります。[終了時刻] の場合も同様です。
再度、指定し直してください。

7 [開始時刻] と同様に [終了時刻] を設定します。

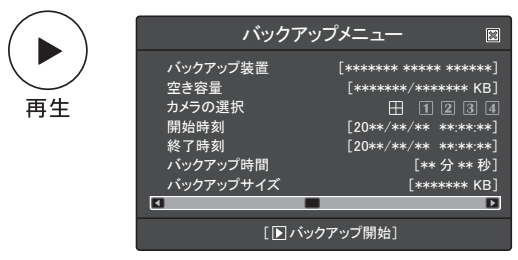


空容量に対するバックアップサイズの目安位置です。

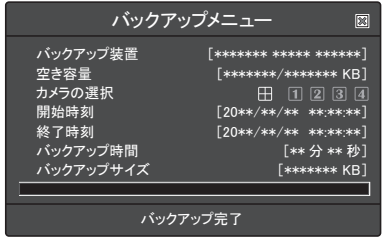
《注意》
USBメモリーの [空き容量] が設定した時間の [バックアップサイズ] よりも少ない場合は、USBメモリーの [空き容量] に合わせて自動的に [終了時刻]、[バックアップ時間]、[バックアップサイズ] が変わります。

8 [バックアップ時間]、[バックアップサイズ] が表示されます。

【再生】ボタンを押して、バックアップを開始します。



バックアップ完了⇒

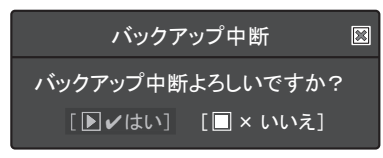
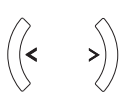


《注意》
USBメモリーには、「.povf」拡張子のバックアップデータが保存されます。
バックアップデータの最大値は約2GBです。
バックアップサイズの大きさによって、複数のバックアップデータが保存されます。

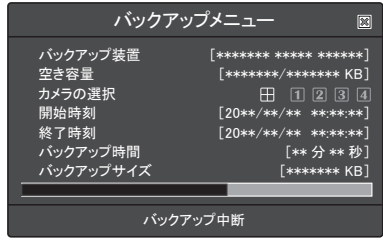
《バックアップをキャンセルする場合》

バックアップを途中でキャンセルする場合は、バックアップ中に【停止】ボタンを押します。

[キャンセル] 確認画面が表示されます。【<>】ボタンで [はい] を選択して【設定】ボタンを押します。
※バックアップを継続する場合は、[いいえ] を選択して【設定】ボタンを押します。



バックアップを停止して [バックアップメニュー] 画面の下に [バックアップ中断] と表示されます。



※キャンセルした場合でも USBメモリー内にバックアップデータが作成されますが、再生できない場合があります。
不要であれば、パソコン上で消去してください。

9 【メニュー】ボタンを押します。

バックアップを終了するときは、【メニュー】ボタンを押します。

バックアップデータの再生

本書で説明するソフトウェアは、「PC ビューアソフト使用許諾契約条項」P.9 に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。

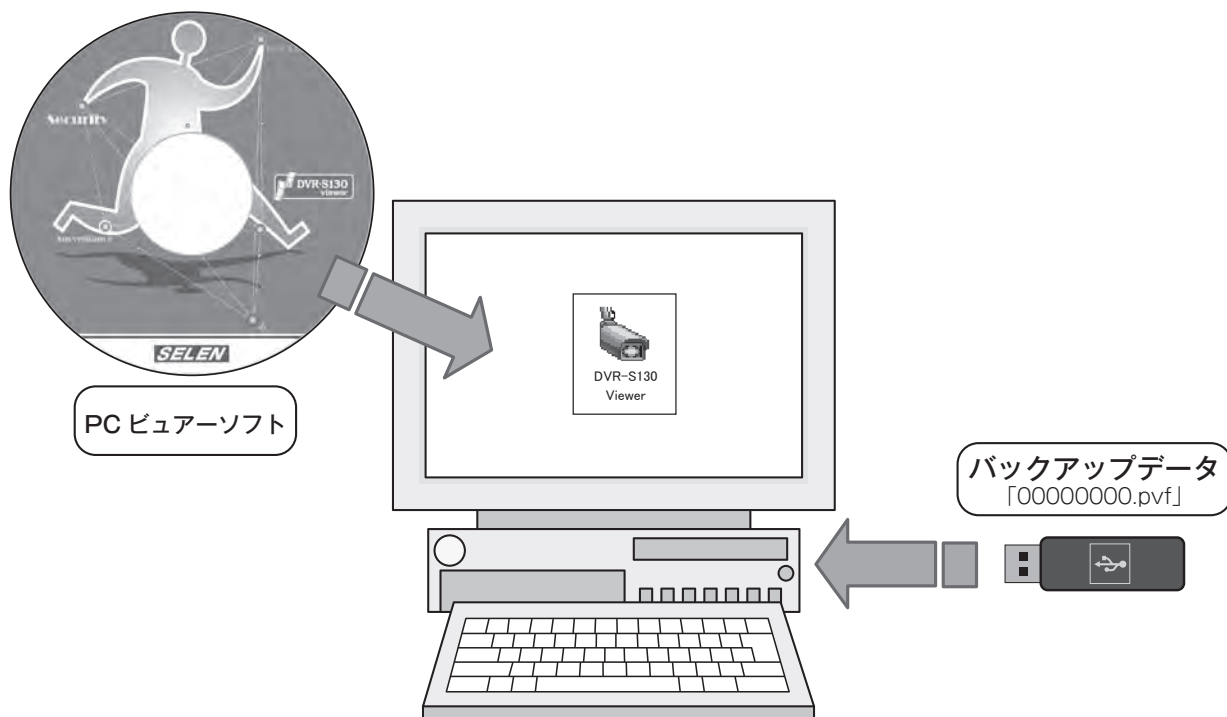
パソコンの推奨動作環境

PC	Windows 機
対応 OS	Windows Vista (32bit 版のみ)、Windows 7 (32bit 版/64bit 版)、Windows 8 (32bit 版/64bit 版)
CPU	Intel Pentium4 2.4GHz 以上
搭載メモリー	1GB 以上

- 推奨動作環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- インストール、アンインストールは、システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみ可能です。
Guest アカウントのユーザー名ではご使用になれません。

パソコンの準備

- ① 付属の CD にある「DVR-S130Viewer」をパソコンのデスクトップ等にコピーします。
※ CD をパソコンに入れると autorun で立ち上がります。PC ビューアソフトをコピーせずに使用することも可能です。
※ユーザーアカウント制御「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」が表示された時は、「はい」をクリックしてください。
- ② USB メモリーにバックアップしたデータをパソコンのデスクトップ等にコピーします。



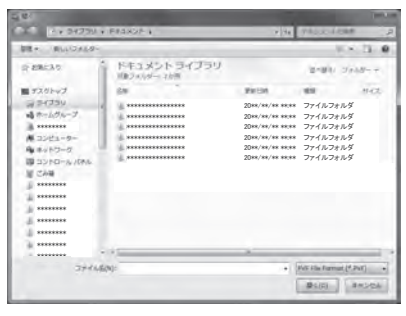
パソコンでの再生方法

1 パソコンにコピーした「DVR-S130Viewer」のアイコンをダブルクリックすると、PCビューアソフトが立ち上がります。
[ファイルを開く] をクリックします。

「DVR-S130Viewer」画面



2 パソコンにコピーした「.pvf」データを選択して、[開く] をクリックします。



3 再生がスタートします。
※別のファイルを再生する時は、[ファイルを開く] をクリックして、再度**2**から操作してください。
終了する場合は、[] をクリックします。

《マウスで単一画面と4分割画面の切り替える方法》
4分割画面の時に、単一画面で表示させたいカメラの映像の上でダブルクリックすると単一画面に、単一画面で表示している映像の上でダブルクリックすると、4分割画面に切り替わります。

《マウスで画面を最大化と標準サイズに切り替える》
カメラの画面・ボタン以外の場所でダブルクリックすると、画面表示が最大化と標準サイズに切り替わります。

クリック操作

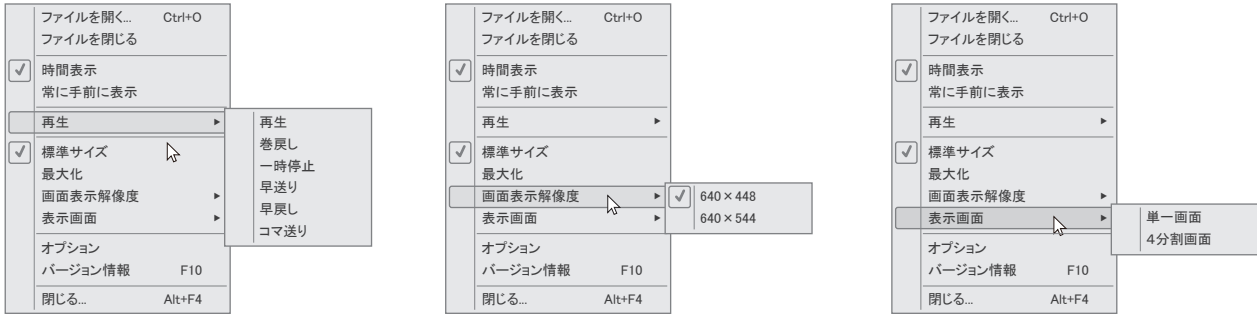
マーク	内容
	画面を最小化します。
	PC ビューアソフトを閉じます。
	再生するデータを開き（再生し）ます。
	早戻し再生します。（3段階）
	戻し再生します。
	一時停止します。
	コマ送り再生します。
	再生します。
	早送り再生します。（3段階）
	静止画を作成します。 操作方法→P.75「静止画データの作成」
	映像を単一画面で表示します。クリックするごとに、カメラが①→②→③→④の順に切り替わります。
	4分割画面で表示します。
	消音をオン/オフします。
	音量が調整できます。

《注意》
操作を切り替える時は、一度 [一時停止] をクリックして操作してください。

バックアップデータの再生

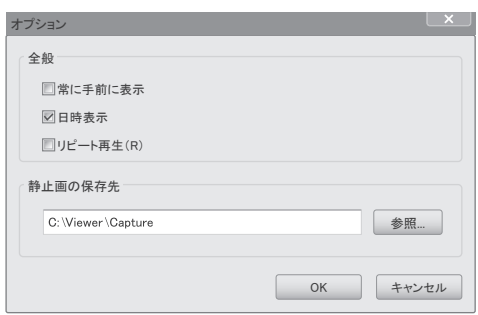
右クリック操作項目

「DVR-S130Viewer」の画面上で、マウスの右クリックをすると様々な設定項目が表示されます。表示の内容は、下記表の通りです。



表示		内容
ファイルを開く		再生するデータを開きます（再生）。
ファイルを閉じる		再生している映像を停止します。
時間表示		時間を表示します。
常に手前に表示		常にパソコン画面上の一番手前に表示します。
再生	再生	再生します。
	巻戻し	戻し再生します。
	一時停止	一時停止します。
	早送り	早送り再生します。（3段階）
	早戻し	早戻し再生します。（3段階）
	コマ送り	コマ送り再生します。
標準サイズ		標準のサイズで画面表示します。
最大化		モニターの全画面で表示します。
画面表示解像度	640 × 448	それぞれの解像度で、画面表示します。
	640 × 544	
表示画面	単一画面	単一画面で表示します。クリックするごとに、カメラが①→②→③→④の順に切り替わります。
	4分割画面	4分割画面で表示します。
オプション		オプション画面を表示します。次ページをご確認ください。
バージョン情報		本ソフトのバージョンです。
閉じる		PCビューアソフトを閉じます。

右クリック操作項目（オプション内）



表示	内容
常に手前に表示	常にパソコン画面上の手前に表示します。
日時表示	初期画面中央の下に再生している映像の日時を表示します。
リピート再生	映像を繰り返し再生します。
静止画の保存先	[静止画保存] ボタンを押した時に、静止画データを保存するパソコン上の場所を設定できます。

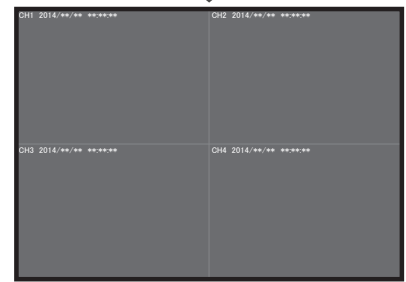
静止画データの作成

◆ 「DVR-S130Viewer」上の画面を BMP（ビットマップ）形式の画像として作成することができます。

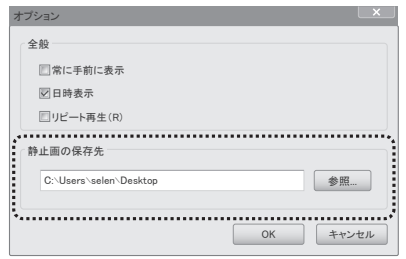
1 「.pvf」データを再生状態にします。
（操作方法→「パソコンでの再生方法」P.73）



3 [静止画保存] ボタンを押します。
押した時の画面が操作2で指定された場所へBMP（ビットマップ）形式の画像として保存されます。
※一時停止して操作すると、映像の静止画にしたい瞬間を逃さずに作成できます。



2 上記の「右クリック操作項目(オプション内)」の「静止画の保存先」で保存したいパソコンの場所を指定します。
※保存したいパソコンの場所には、あらかじめフォルダを作成しておくとう便利です。



《注意》
ファイル名は、「(日時).pvf」になります。同じ時間の静止画データを複数保存する場合は、ファイル名を変更してから、新たに作成する等してください。

《注意》
静止画の作成は、画面に見えている映像がそのまま画像として保存されます。単一画面で表示している場合は、単一画面で保存されます。

MEMO

仕様・保証

主な仕様

項目	仕様
型式	DVR-S130
電源	専用 AC アダプター 入力：AC100V (50/60Hz) 出力：DC12V
消費電力	約 15W ※カメラ 4 台接続で録画状態の安定時
使用温度範囲	約+ 5 ~約+ 40℃
使用湿度範囲	約 80%以下
外形寸法	223mm (W) × 292mm (D) × 53mm (H) ※突起物含まず
質量	約 2.0kg (本体のみ・AC アダプター含まず)
映像入力	4 系統 (BNC)
映像出力	1 系統 (RCA)
	1 系統 (VGA)
音声入力	1 系統 (RCA)
音声出力	1 系統 (RCA)
圧縮方式	H.264
記録媒体	HDD (1TB)
録画フレーム	カメラごとに 2 ~ 30 フレームの範囲で設定可能
バックアップメディア	USB メモリー (2.0/1.1) ※ 1 ~ 64GB まで。ウイルス対策ソフト等が入っていない製品
リモコン電池	単四形乾電池 × 2 本

保証 必ずお読みください。

- 保証書(一体)
 - ・ 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店」などの記入をお確かめの上、販売店から受けとってください。
 - ・ 内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
 - ・ 保証期間はお買い上げの日から 1年間です。
- 補修性能部品の保有期間
 - ・ セレン製ハードディスクレコーダーの補修性能部品の保有期間は製造打ち切り後、5年間です。
 - ・ 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 部品について
 - ・ 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
 - ・ 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を利用することがあります。
- 修理を依頼される時は(持込修理)
 - ・ 異常があるときは、使用を中止しお買い上げの販売店にご連絡ください。
 - ※修理・点検の都合上、メニュー設定やハードディスクのデータを削除する場合があります。予めご了承ください。
- ◆ 保証期間中は…

保証書の規程にしたがって、修理をさせていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- ◆ 保証期間が過ぎているときは…

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ◆ 修理料金のしくみ…

修理料金は、技術料、部品代などで構成されています。
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代：修理に使用した部品代金です。

ハードディスクレコーダー保証書

持込修理

本書は、取扱説明書・本体などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★欄頭に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので、紛失しないように、大切に保管してください。

型名	DVR-S130		
保証期間	本体1年間（消耗品は除く）		
お客様	お名前	見本	
	ご住所		
★お買い上げ日	年	月	日から
★販売店	住所・店名		
	TEL		

1. 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品の交換。
 - (ト) 一般家庭用以外(例えば業務用)にご使用の場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。

修理メモ

株式会社 セレン

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-11-6 相馬ビル
電話 03-5911-1045

SELEN

株式会社セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル

Tel : 03-5911-1045

Fax : 03-5911-1046

E-mail : info@selenguard.com

URL : <http://www.selenguard.com>